

龍拔兒德街論

第七篇

大藏省
翻譯課



114
A1127
9



龍核

見德街論

第七編

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

尾三文譯

2

英國銀行カ適當ナル銀行準備ヲ保守シ且ツ之レヲ活用支
配スルニ就テ其本分ノ義務ヲ尽セシ所ノ方法ノ愈々精密
ナル事歴ヲ論ス

前編ニ於テ英國銀行カ其ノ保守セル銀行準備金ニ就テ施ス可
キ義務ノ重且ツ大ナル所以ヲ論シ来リタルハ大概我輩ヲレテ
其義務ノ果シテ重大ナルヲ理會スルヲ得セシノタリ
若シ我輩ニシテ英國銀行カ此ノ重大ナル責任ヲ尽シタル方法
如何ヲ査問スルニ當ラハ頗ル愕然タラサルヲ得サルモノニア
リ

第一 前段ニ於テ已ニ詳論セシ如ク英國銀行ハ決シテ確定
ノ條例若シクハ識者ノ發言ニ同ニテ此義務ヲ負擔セ
シニテハハ取締役、或ハ此ノ義務ノ負擔一廉拒

セシモノアリキ

第二

第一ヨリモ一層著シキモノ議院議決ニ因リ或ハ議院ノ銀行事務委員ノ報告ニ因リ(余カ聞知ノ及フ所丈ケニテハ)或ハ愛國ノ政事家カ演舌ニ因リテ英國銀行ニ此ノ義務ヲ委任シ若シクハ之レヲ強迫セシムアラザリキ

第三

尚ホ前条ヨリモ一層著ルシキモノハ我カ碩学大家ノ明ラカニ示教スル所之レナリ曰ク總テ公眾ニ係ルノ義務ハ其ノ何種タルヲ問ハス全ク英國銀行ノ銀行局ハ関カテサル所ナリ且ツ其ノ銀行本業ニ至リテハ實ニ自他一般ノ銀行ト同シク唯一個ノ合本銀行タルニ過キサレハ其ノ管事者タルモノハ宜ク單ニ株主ノ得失ヲ考ヘ其配當金ニノ心ヲ用ヒ凡百ノ事務ハ盡ク

皆ナ彼ノロンドン、エンドウ、エストミンステル銀行又ハユニオン銀行ノ如クニ管理スベキナリト

抑モ斯ル至要至大ナル義務ノ曾テ英國銀行ニ委任セラレサル又該銀行ノ之レヲ了認セサル或ハ該銀行取締役中此ノ義務ノ了認ヲ嫌拒スルモノアルト等ハ頗ル奇異ナルニ似タリト雖モ決シテ奇異ナルニアラサルナリ其故如何トナレハ我輩等今日ノ有様ヲ見ルベシ勿論目ニ觸ル所ノ事實ハ古人ト均シカラサレハ其ノ思想モ又多ク古人ノ同途ニ出テスト雖モ之レヲ要スルニ古人論争ノ糟粕ヲ拾ヒ其言語ヲ真似ル者ト云フモ取テ甚シキ証言ニアラサルベシ者ヨリ一千七百九十三年ヨリ一千七百九十三年ヨリ曾テ一千七百九十三年ヨリ一千八百四十四年ニ至ルマテ五十餘年ノ間英國銀行ノ公ニ関シタル職務ニ就テ頗ル激烈ナル論争ノ起ルアリテ竟ニ該銀行ヲ了認メテ紙ノ管理者ナリト断言スルニ

至レリ是ニ於テヤ義論紛々或ハレヲ是トシテ英國銀行ニ將
来ノ望ミヲ囑スルアリ或ハ之ヲ非トシ為ニ不測ノ害ヲ喚起
スヘシト論スルアリ或ハ該銀行ヲシテ紙幣ノ管理者タラシム
ルモ為メニ利モナク又害モナカルバシト論スルアリ右ノ五
十年ノ間ハ其論議喋々絶ハス竟ニ其局ヲ結フニ至ラザリキ然
ルニ一千八百四十四年ノ條例ノ發行アルヤ頃ニ此ノ議論ヲ
結ンテ世ニ又之レカ利害ヲ争フモノナシ是レ益シ此ノ條例ノ
發行ニ因リテ紙幣ハ他ニ頼ラスシテ自カラ支配シ其運轉自動
ニ歸シタルニ由リテナリ然ラハ則チ英國銀行ノ紙幣管理者タ
ラサルハ今ヤ已ニ明カナリ且ツ又從來世人ヲシテ公ニ関レタ
ル責任ノ該銀行ニ附着セラレタルモノトシ思ハシメタル事理
ハ今ヤ既ニ消滅シタレハ世人ハ已ニ該銀行カ毫モ此種ノ責任
ヲ有セサルヲ覺知シ此ニ五十年間激烈ノ論争モ一朝條例ノ為

メニ一決シタルハ實ニ急激ナリト雖モ又自然ノ勢ヒニ出テタ
ルモノナリ
英國銀行カ了認スル所ノ責任ハ果シテ那邊ヲ以テ限界トスル
歟其限度ノ一定ナキハ既ニ一千八百六十六年ノ驚慌ニ関レ該
銀行ノ取締役ガ親シク明言セルモノニ因リテ完然其ノ意ヲ尽
セリト謂ツベシ益シ此年ノ驚慌ハ世人ノ記憶セルカ如ク前例
ニ及シ早ク春季ニ於テ發生シ竟ニ次ノ^{トオフ}株主會議(即チ九月ノ會
議)ニ於テ最モ著ルシキ討議ヲ喚起スルニ至レリ其顛末ノ悉シ
キニ至テハ紙末ノ附録(附録丙号ヲ参考スベシ)ニ於テ詳述スヘ
シト雖モ討議中最モ緊要ノ点ニアリテハ既ニ「エゴノ」ニスト新
聞紙上ニ掲載スル所アリ姑ク借用シテ以テ讀者ノ参考ニ供
ス

英國銀行株主ノ最近ノ會議 頗ル緊要ナルヲ就テ論ス

英國銀行最後、朱主會議ハ實ニ非常ナル緊要ノ會議ナリキ
若シ此會議ヲシテ勿ラレメハ最後ノ難題ノ事歴ニ関シ確固
タル探究ヲナサント欲スルモ決シテ得ヘカラス將タ明年議
院委員ノ會議ノ如キモ非常事件ノ突起スルニアラサルヨリ
ハ徒ニ時日ノ空費ニ属セシ而已且ツ夫レ難極ノ現時ニ在リ
テハ頗ル苛酷ノ影響ヲ被ムルモノナレバ已ニ其經過シ去ル
ヤ忽チ之レヲ忘却ニ歸スルハ凡ソ商業人ノ常体ニシテ彼ノ
一千八百六十四年十月ニ於テ發起セシ事件ハ今日ニ至テハ
又之レヲ顧ミル者ナシ是ニ由テ之ヲ觀レハ去ル五月起末ノ
事件ハ明年ノ二月ニ至テハ又之レヲ反省スルモノナカラシ
然リ而シテ其ノ探究ノ實心ニ出ルニアラス且ツ既ニ各人ノ
無益トシ認ムルノ皮想論ハ實ニ害アリテ益ナケレハ到底之
レナキニ若クハナシ夫レ斯ノ如キ事情ナルカ故ニ英國銀行

頭取ノ報告コソ特リ確實信憑ヲ容ルベキモノニシテ之ニ賴
テ以テ既往將來該銀行取締役ノ權謀ノ在ル所ヲ知ルニ足ラ
シ而シテ吾人若シ此ノ解釋ニ就テ及復嘗味スルニ於テハ其ノ
最モ重大緊切ノ意ヲ含有スルコトヲ了解スルニ至ルベキナリ
此ノ集會ニ於テ英國銀行ヲ獨リ該國銀行準備金ノ保有者タ
ルヲ許諾シタルモノト云フモ取テ大過ナカルヘキナリ素ヨ
リ我輩ハ今斯ク考定スルト雖モ此事ヲ以テ該國ノ通用紙幣
若シクハ英國ニ於テハ數多ノ紙幣發行者アルベレ或ハ又之
レヲ一人ニ限ルヲシト云フニアラス我輩ハ紙幣引換準備ノ
コトニ付テ云フニアラスシテ只銀行準備ノコトニ付テ云フナリ
(即チ受託金ニ對シテ保有スルノ準備ヲ云フノミニシテ紙幣
ニ對シテ保有スルノ準備ト云フニハアテサルナリ)我輩ハ屢
々此コトノミナシ新聞紙上ニ於テ英國銀行ハ單ナル實ノ銀

行準備(即チ英國ニ於テ單ナル據正金ノ大塊)ヲ保有スルモノ
タルト主張シ以テ之レヲ論辨シタリト雖氏未ダ嘗テ之レニ
一般ノ同意ハアラサリキ又理財ノ事ニ老練ノ人等ハ之レヲ可
認セシニモアラス又實ニ別段明白ニ之レニ充分ノ反對ヲ為ス
モノモアラス是レ蓋シ此ノ輩ニシテ之レニ反對ヲ主張スルニ
於テハ該英國銀行ニ現存スル所ノ準備ノ外ニ或ル他ノ運用セ
ラレスニアリテ存スル大ナル貯庫ノ準備ヲ指シ示サレテ得ス
ト雖氏此輩ハ斯ル貯庫ヲ何レノ處ニモ見出ス可能ナルニ因リ
テナリ然リト雖氏此庫ハ強テ之レカ分界ヲ立テント企テ則チ
云テ曰ク英國銀行カ獨リ英國ノ銀行準備ヲ保守スルト云フノ
說ハ策ノ得タルモノニハアラス又大言ニ似タリ又人ヲシテ迷
惑セシムヘキモノナリト
然リト雖氏前キノ集會ニ於テ全ク英國銀行カ獨リ英國ノ銀行

準備ヲ保守スルトハ明カニ許諾セラレタリ英國銀行ノ頭頭明
言シテ曰ク

過ル數ヶ月月中ハ彼カ英國銀行及ヒ總テ倫敦ノ諸銀行ハ共
ノ資財貸付ノ為メニ頗ル大盡カヲナシタリ而シテ余ハ獨リ
該銀行ノミナラス自他ノ諸銀行モ總テ此ノ甚シキ困難ノ
時際ニ臨ミ最モ公正ニ最モ稱譽スベク能ク其ノ義務ヲ尽
セリト云ハサルヲ得スト余ハ思惟セリ夫レ銀行事業ナル
モノハ甚タ奇異ナルモノニテ全ク信用ニ依リテ存スルモ
ノナレハ輕々タル一照ノ疑懼モ(既往ニ於テ其例少ナカラ
サルカ如ク)尚ホ容易ク終年ノ收穫ヲ一朝ニ掃拂シ去ルニ
足ルモノナリ然リト雖氏一般倫敦ニ於テ開業セル諸銀行
カ去ル過半年ノ間世人ノ請求ニ應ヒテ貸付ケヲナセシ有
様ハ因テ以テ其事務ヲ施行スル所ノ主義ノ確實正明ナル

「ノ最モ十分ナル証據ヲ示スニ足ルベシ我カ英國銀行ハ
此難極ニ應シテ之レヲ救ハンカ為メ一及フ丈ケノカヲ舉
ケテ之レヲ尽シ而シテ竟ニ之レヲ救フノ目的ヲ遂クルヲ
得タリ我カ英國銀行ハ斯ル危急ノ秋ニ臨テ一步タモ我カ
責ヲ避ケザリキ「オベール」ン「ド」會社ノ分産ノ評判漸ク世間
ニ蔓延スルヤ其朝ニ於テ激浪忽チ我カ英國銀行ニ打チ寄
セ来リシト雖モ我カ英國銀行ハ或ル他ノ銀行會社カ保有
シ得タルカ如ク依然トシテ確實堅固ノ地位ヲ保テタリ而
メ共日及ヒ之レニ次ク一週日ノ間ニ於テ我輩ハ世人カ信
ジ能ハサル程大額ノ貸付ヲ行ヘリ又誰レニテモ我カ英國
銀行カ斯ル巨大ノ貸付ヲ行ハントハ夢ニタモ之レニ先
チテ預想スル「ド」能ハザリシト余ハ信スルナリ是ニ因リテ
之レヲ觀レハ斯ル困難ノ時際ニ於テハ世人ノ心秉ニ幾許

カ驚怖ノ念ヲ懷カサルヲ得ザリシ「ド」并ニ我カ英國銀行ヨ
リ救助ヲ求メン「ド」ヲ要スル所ノ人等ハ若シ我カ英國銀行
ニ於テ法律上制定ノ額ヲ越ヘテ紙幣發行ノ久可ヲ得ン「ド」
ヲ要スル「ド」ハ則チ出納尚書ノ署ニ就キ政府ニ迫リテ法
律上制定ノ額ヲ越ヘテ紙幣發行ノ權ヲ我カ英國銀行ニ委
子ン「ド」ヲ要求セサルヲ得ザリシ「ド」亦自然ノ然ラシムル
所ナリキ然リト雖モ我輩ハ未タ斯ル久可ヲ領收セサルニ
先チ且ツ出納尚書ハ恐ラタハ寢所ニ在リテ眠未ク覺メサ
リシ前ニ已ニ我カ準備ノ一半ヲ貸出シタリ我輩ハ我カ准
備ノ斯ノ如ク減少セシテ想ヒ出ス毎ニ未ク嘗テ後悔スル
「ド」ナキ能ハサルナリ然リト雖モ我輩ハ銀行社會ヲ救助シ
以テ之ヲ支持セン「ド」ニ付テハ我カ英國銀行ノ上ニ委任セ
ラレタルト已ニ理會シタレハ我輩豈我輩ノ義務ヨリ避ケ

テ斯ル困難ヲ救ハサルニ忍ビシヤ故ニ余ハ未タ我カ英國
銀行ニ来リテ救助ヲ求メタル適正ナル請願ノ一モ拒絶セ
ラレシトアルヲ知ラス則チ何人ニテモ相當ノ抵當ヲ以テ
我カ英國銀行ニ救助ヲ求メ来ルニ當リテハ我輩ハ自由ニ
其請求ニ應シタリ而シテ我カ救助ノ要求セラレシ丈チ十分
ニ之レニ應セザリカハ知ラサレテ適當ナル抵當ヲ以テ請
求シ来リシ所ノ人ハ一人ニテモ我カ英國銀行ノ救助ヲ得
ザリシモノハアラザリキ

儲テたニ述ベタル英國銀行頭取ノ一言ハ取モ直リス該國爾
他ノ諸銀行カ不時ニ暴發スル驚慌ニ遭逢スルノ際ニ於テ自
己ヲ救フカ如キ銀行準備金即チ正金若シクハ銀行紙幣ヲ保
守スルヲ要セストノ意ナルヤ明々タリ是レ蓋シ英國銀行
ハ其ノ保守セル銀行準備ヲ自己及ヒ自他諸銀行ノ為ニシ

以テ銀行社會ヲ支持スルハ英國銀行ノ義務ナリト了認セシ
ニ因リテナリ

我輩ノ明判スル所ニ由レハ此英國銀行ノ一言ハ最モ公正ナ
ルモノナリ然リ而シテ英國銀行頭取ハ斯ノ如ク其ノ職務ノ實
際ヲ解キ且ツ斯ノ如キ明亮ナル言辭ヲ用ユルヨリ公衆ノ益
ヲ為スニ於テハ之レヨリ大ナルハナカルヘシ而シテ我輩英國
人民ハ何人カ銀行準備ヲ保守スベキヤ之レヲ確カニ知ラン
トヲ要ス若シ合本銀行、私立銀行、及ヒ郡縣ノ諸銀行ニシテ銘
々ニ其應カノ準備ヲ保守スベキモノトセハ暫ク我輩ハ其ノ
說ニ從ハン儲テグラットストーン氏近頃議院ニ於テ合本銀
行、私立銀行、及ヒ郡縣ノ諸銀行ノ銘々ニ其ノ準備ヲ保守セサ
ル^ルト演述セリ然リト雖モ果シテ然カセサルヲ得ザルハ
確然之レヲ保守スルハ何人ノ義務ナルヤヲ明カニセザルベ

大
賞

カラス我輩々屢々論スル所ノ本旨ナリ獨リ一銀行ニテ銀行
準備ヲ保守スルノ事タル昔理ハ則チ昔理ナリト雖モ我々英
國銀行仕組ニ於テ已ニ慣行上ヨリ固定セシモノナレハ今ニ
至リ之レヲ改正セント欲スルモ決シテ得ヘカラス況ンヤ只
恐ルベキノ大弊害ナルモノハ事實曖昧ニシテ世ニ分明ナラ
サルノ一事ナリシト雖モ今ヤ此ノ弊害モ已ニ際トコトヲ得
タルニ於テオヤ

英國銀行カ為シタル此ノ説明ノ至要ナルヤ一千八百五十七
年ノ驚慌ノ後ニ於テ該銀行カ精密ニ前説ヲ守ラリリ故ニ
益々至要ヲ加ヘタリ曾テ簡明ナル理解ヲ好ムノ人アリ云テ
曰クオバレン下會社ハ一千八百六十六年ニ於テ破産セシカ
為メニ英國銀行ヲ破滅セシメタリ而メ一千八百五十七年ニ
於テ破産セシメラレサレシカ為ニ英國銀行ヲ破滅セシメタ

リト尤モ斯ル言辭ノ如キハ共事理甚々明亮ナレハ亦深ク之
レヲ探究スルヲ要セス則チ一千八百五十七年ノ驚慌ニ於テ
ル至要ノ事情ハオバレント會社ニ巨大ノ貸付ケヲナシタル
トナリキ此時ニ本リテ手形扱人ハ殆ント暴キニ銀行者カア
リシ如クニシテ不時ニ不測ナル巨額ノ貸付ケヲ要求セシ所
ノ借主ナリキ然リト雖モ英國銀行ハ手形扱人ニ向ヒ以來ハ
再々今回ノ例ニ習ハシト希フヲ勿レト告ケタリキ然ルニ
アルトルメンサロモン氏ハ倫敦ノ銀行者ニ代リ演テ曰合
本銀行ノ管理人及ヒ株主等ニ取リテハ英國銀行ノ頭取カ曾
テ確實公正ナル方法ニ負ムカマシテ其職務ヲ尽セシ所ノ演
述ノ外他ニ之レヨリ一層満足スヘキモノハアラサルヘキハ
余カ信シテ疑ハサル所ナリ因テ此ニ之レヲ稟明スルノ好機
ヲ失ハサランコトヲ望ム且ツヤ合本銀行及ヒ一般ノ銀行營業

者等ハ英國銀行ト一致和合シテ其業ヲ營マンコトヲ欲スルヤ
頭然タレバ余ハ誠意ヲ以テ此ニ英國銀行ノ頭取カ最キノ財
政上ノ難極ニ際シ合本銀行ノ要求ニ應ジテ之レヲ救助セシ
所ノ方法ニ付テ論及セシ懇甚ノ所置ニ向ヒ深謝セサルヲ得
ズト則チ英國銀行ハ爾他ノ銀行ノ依頼ニ因リテ應機ニ之レ
ヲ救ハンコトヲ同意シ爾他ノ諸銀行モ亦已ムヲ得サルノ場合
ニ至リテハ之レニ依頼センコトヲ同意セリ
又英國銀行ハ實ニ何人ヲ問ハス相當ナル抵當ヲ以テ貸付ケ
ヲ依頼シ来ルニ於テハ制限ナク何程ノ巨額ニシモ貸付ケヲ
ナサンコトヲ許諾セリ現今ノ場合ノ一驚ノ際ノ際ヲ云ニ於テ英
國銀行ヨリ貸出シタル金額ハ既ニ四十五萬千鎊ニ至リシ
ト雖モ英國銀行ハ商估社會ニ向ヒ又銀行者輩ニ向ヒ再ヒ我
カ英國銀行ニ来ル勿レ我輩ハ今回丈ケハ足下等ノ先急ヲ濟

フタリト雖モ之レヲ以テ以後ノ例ト為ス勿レ我輩ハ足下等
カ再ヒ今回ノ如ク先急ヲ訴ヘ来ルモ決シテ救ハサルベシト
ハ明言セサリキ却テ明白ナル含蓄ノ意味ヲ云ハバ將来ニ於
テ斯ノ如キ先急ノ事情アルニ當リテハ英國銀行ハ何時ニラ
モ今回ノ如ク應機ニ其ノ請願ニ任セテ之レヲ救フヲ急ラサ
ルヘシトノ外ナラサレナリ
右ノエゴノミスト新聞紙上ニ載スル所ノ論説ハ英國銀行取締
役中ノ多數就中其ノ説ノ甚ク確實嚴整ナル所ノ數人ノ頭ル悅
ハスレテ容レサル所ナリキ此輩謂ヘラタエゴノミスト新聞紙
ノ論説ノ如キハ蓋シ自ラ攻撃ノ餘地ヲ与ヘタル所ノ(即チ總テ
斯ノ演述ノ如ク論理ノ精密ヲ欠キ且ツ英國銀行取締役ノ議決
ヲ經テ許准セシモノニアラス從テ英國銀行ニ其責メヲ緊束セ
シムルコト能ハサル當時ノ英國銀行頭取カ只其ノ自己ノ意見ヲ

發言セシニ過キサル所ノ英國銀行頭取ノ一演述ニ付キ妄リニ
疎漏ノ見解ヲ説キ出シタルモノナリト然リト雖氏該新聞紙上
ノ論説ノ如キハ因テ以テ之レカ事實ヲ世ニ露出明示スルノ端
緒ヲ開キタレハ強テ無益トハナシ難シ何トナレハ英國銀行ノ
取締役等ハ其ノ頭取ノ演述ニ對シ或ハ之レニ注釋ヲ加ヘ或ハ
之レヲ制限シ或ハ之レヲ駁撃センコトニ於テ頗ル困難ノ思ヲナ
シタルベシト雖氏今ハ「エ」コノミスト新聞紙ノ論説ニ對シ之レ
ヲ辨駁センコトハ毫モ困難トナス所アラサルベシレハナリ故ニ
最モ老練ナル英國銀行取締役中ノ一人ナル「ハンキ」氏則チ取
リ敢ヘス其ノ當時ニ於テ之レヲ辨駁シテ左ノ如ク説述シタリ
「エ」コノミスト新聞紙ノ論説ノ如キハ余カ所見ニ據レハ其ノ
過害ヲ貽ス末ク嘗テ銀市即チ銀行世界ニ於テ見サル所ナリ
共説ニ曰ク銀行者等ハ其ノ自己ノ所有金ヲ拂ヒ尽シ將來ノ

扶掖ニ就テハ之レヲ英國銀行ニ依頼スヘシ而シテ其依頼ニ應
ジテ之レヲ救フハ英國銀行ノ適當ノ職務ナリト抑モ斯ル有
害ノ説ニシテ銀行業者ノ是認スル所トナリ且ツ其ノ心裏
ヲ離レサル間ハ倫敦ニ於テ銀行事業ノ基礎ヲシテ確固ナラ
シメント欲スルモ其ノ困難帯ニ甚ク大ニシテ竟ニ之レヲ遂
クルコトヲ得サルヤ必然ナリ爾カ云フト雖氏幸ニシテ世ノ銀
行者等ハ彼ノ「エ」コノミスト新聞紙上ニ論スル所ノ所謂銀行
者ハ已ムヲ得サルノ場合ニ當リテハ英國銀行ニ依頼シ其ノ
救撥ヲ仰クコトヲ正適ナリトスルノ説ヲ以テ是ナリト認メサ
リシハ余ノ信シテ疑ハサル所ナリ
余ハ英國銀行ニ於テ其ノ銀行準備(通例受託高凡ツ三分ノ一
ヲ以テ準備トス)ヲ最モ便利ナル抵當(金銀地ニテ保有シ以テ
銀市ニ於テ不時ノ壓迫起生スルニ當リテハ其ノ起リ来リタ

ル原因ノ如何ヲ問ハス財資乾涸スルニ當リテハ此ノ準備ヲ
以テ其ノ應分ノ責任ヲ尽スコソ斷乎タル英國銀行ノ本務ナ
ラント思惟スルナリ諸君余ハ素ヨリ世間ニ於テ久シキ以未
英國銀行ハ之レ^三準備ヲ指スヨリ一層餘計ノ救援ヲナサバ
ヲ得ストノ説ノ流布セルトヲ知レリト雖モ余ハ聞テ之レヲ
問ハサルニ付セリ然リト雖モ^二新聞紙上ニ於テ
斯ノ如キ説(一千八百六十六年九月二十二日發兌ノ^二エ
スト^一新聞紙ヲ参考スベシ)ヲ主張スルニ及テハ頗ル驚愕セサ
ルヲ得サルナリ若シ英國銀行ニシテ斯ル偶然起生ノ壓迫ニ
應シ之レヲ救ハシカ^レ為^レニ豫テ使用ニ付セサル貨幣ヲ保有
セサルヲ得サルトノ説ヲシテ實際ニ行フトセハ此ノ事ノ如
キハ實ニ愚モ亦甚シキモノト謂ツヘシ余ハ斯ノ如キハ斷然
實際上ニ行ハルベカラスト信ス若シ万カ一モ行ハレタラン

ニハ是レ只最モ不適宜ノ事タラシノミ加之ノミナラス余ハ
只英國銀行ノ銀行又ハ高賣上ノ困難ノ日ニ際シ其ノ力ノ及
フ丈ケ一紙ノ依頼ニ應シ之レヲ救援セントヲ望ム所ヨリシ
テ竟ニ斯ノ如キノ説ヲ益々憑憑シ以テ實ナラシムルニ至ル
ノ弊害アラシク痛歎スルノ外アラサルナリ夫レ英國銀行
ノ執行ノ有様ヲシテ愈々我カ合衆^一英國ノニ於ケル他ノ
管理宜シキヲ得タル銀行ノ執業ニ類似セシメ該英國銀行ノ
為メニハ勿論一般社會ノ為メニモ愈々利益アルニ至ルベキ
ハ余ノ斷シテ疑ハサル所ナリ
余ハ素ヨリ明判者タルノ知識ヲ備ヘタルニアラスト雖モ然レ
モ余ハハンケ^一氏カ^二エ^三コノミ^四スト^五新聞紙上ノ論説ヲ取セシカ
為メニ起草セシ右ニ掲ケタル所ノ文章ハ其論點全ク該新聞紙
ノ論點ト齟齬セリト思惟スルナリ

(第一)

ハンキル氏ハ談問題ノ將來斯クセサルヘカラストノ論
ニアラスシテ現ニ實際上行ヘ来ル有様ノ論ナルヲ観
察セサルヘカラスト何トナレハ「エコノミスト」新聞紙ハ單
ナル銀行準備ノ仕組ヲ以テ善良ナル仕組ナリト論スル
ニアラス此ノ仕組ハ慣行ヨリシテ現ニ成立スル仕組ナ
レハ今ニ至リ之レヲ變改セント欲スルモ得ヘカラスト論
レハ將來ニ向テモ此ノ終ニ管理セサルヘカラスト論ス
レハナリ

(第二)

ハンキル氏ハ驚慌ノ日ニ際シ英國銀行ノ銀行局ノ準備
ノ外別ニ貸出シヲナシ得ヘキ豫テ使用セラレサル正金
ノ或ル他ノ貯庫ヲ指シ示サバ爾ヲ得サリキ何トナレハ
斯ル貸出シハ甚ク必用ナレハ是非何レノ處ニカ在ラサ
ルヲ得サレハナリ但シ倫敦ノ諸銀行ニ在ル所ノ準備ハ

(第三)

斯ノ如キ貯庫ニアラス又此ノ準備ノ如キハ使用中ニ在
ル正金ニシテ使用セラレスニアル正金ニハアラス又此
ノ準備ノ如キハ英國銀行受託金中ノ一部分ナレハ則チ
此ノ一部分トシテ貸付ヲラルナリ
ハンキル氏ハ曾テ公告セラレタ表ニ因リテ倫敦ノ合本
銀行ノ(後令ヒ英國銀行ヘノ預託金ヲ正金ト見計ルモ正
金ヲ以テ其負債高ノ三分ノ一若シクハ殆ト三分ノ一ヲ
保守セサルハ我輩モ亦知ル所ナルヲ觀察セサルヲ得サ
リキ此ノ表ニ因リテ共レテ合本銀行ニ於ケル受託金額
ノ三分ノ一ハ(私立銀行ヲ除キ)三千万封度ナルベシ而シ
英國銀行カ一已ノ受託金額ハ一千八百万封度ナリ「ハン
キル」氏ノ稟明ニ據テ之レヲ觀ルハ此ニ明カナル差違
アリ蓋シ合本銀行ハ勿論私立銀行ノ如キモ亦必然一種

ノ準備ヲ保守シ而ノ英國銀行ハ全ク之レト等シカラサ
ル別種ノ準備ヲ保守スルモノナリ然ルニバンキ「氏ハ
合本銀行ニセヨ英國銀行ニセヨ両ツナカラ一様ノ主義
ニ基キテ管理セラレサルヘカラスト云ヘリ然リト雖モ
若シ果シテ然ラザルヲ得サルトナスハ「バンキ「氏ハ
英國銀行ノ慣行ヲ以テ他ノ銀行ニ移シ之レヲ管理スヘ
キカ將タ他ノ銀行ノ慣行ヲ以テ英國銀行ニ移シ之レヲ
管理スヘキカニ付テ論セサルヲ得サリシナリ

（第四）

「バンキ「氏ハ「巴ニ前段ニ於テ説述セラレタルカ如ク大
概是迄驚慌ノ日ニ於テ銀行準備ノ主要ナル至用ノ目的
ハ銀行者ニ向ヒ貸出スノ「トニアラスシテ其ノ十ガ八九
ハ殆ト常ニ商人輩及ヒ手形扱人ニ向ヒ貸出サレタリシ
「トヲ觀察セサルベカラス之レヲ要スルニ我方英國ノ銀

行仕組ニ於テハ總テ臨時ノ聲望ヲ英國銀行ニ推托スル
モノトス是ノ故ニ一千八百六十六年ノ難極ノ最極點ニ
際シテハ僅ニ五万封度ノ少額カ最モ確カナル抵當ニテ
サヘモ「ゴンソル「ス利付公債ニテサヘモ英國銀行ヲ除ク
ノ外ノ場所ニ於テハ借り受クル「ト能ハサリキ是レ蓋シ
英國銀行ヲ除クノ外ハ他ニ新クナル借主ニ向ヒ貸出ス
ヘキ貸主一人モアラサリシニ因リテナリ

爾カ云フト雖モ余カ爰ニ之レヲ論スルノ目的ハ今ニ至リテ過
去ノ論議ヲ復タ惹起セントノ意ニハアラス只此ノ論議ノ斯ル
至緊至要ナル事件ヲシテ斯ク不満不確ノ有様ニテ局ヲ結ハシ
メタル「トヲ指シ示サント欲スルノ「三柳モ「バンキ「氏ノ説明ヲ
以テ我輩カ曾テ英國銀行管理法ノ事ニ就テ聞知セシ最後ノ説
明トス氏ハ頗ル老練ニシテ且ツ同心アル取締役ナレハ余ハ氏

カ究メテ多少ノ他ノ取締役輩ノ意見ヲ併セテ説明セシト考
察スルナリ然ルニ我輩ハ「ハンキ」氏ノ説明ニ就キ其ノ要點ノ
果シテ那邊ニ在ルヤヲ發見スルコトヲ得サルヲ如何セン乎者ヨ
彼ノ「エ」コノミスト新聞紙ノ注釈ニ因リテ頗ル明亮盡美ナリシ
所ノ一千八百六十六年ニ於テ英國銀行頭取ノ著明ナル演述
ヲシテ暫ク不問ニ付スルハ「ハンキ」氏ハ到底我輩ヲシテ英
國銀行カ次ノ驚慌ノ日於テ如何ナル管理ヲナスヘキヤ又幾許
金額マテ救済ヲ人民カ英國銀行ニ依頼スルコトヲ得ルマノ事ニ
付テ疑ヲ懷カシメタリ實ニ「ハンキ」氏ノ言辭ノ如キハ甚タ迂
遠ナレハ何人カ適當ナル部^トノ意ヲ解シ得ルモノアラシク況ン
ヤ數年ノ後ニ於テ他人カ其意ノ如何ヲ知リ得ヘシト我輩ハ云
フコトヲ得サルナリ夫レ驚慌ノ際ニ於テ一銀行又ハ數銀行ノ論
ナク銀行後備金^{Reserve Fund}ノ保持者カ適當ナル抵當ヲ持テ其ノ救済

ヲ仰クノ人ニハ容易ク之レヲ貸付セザルヘカラサルコトハ論理
上ヨリ報告スル所タルノミナラス亦實地經驗上ヨリ証明スル
所ナリ蓋シ此ノ管理法ニ基ヒテ處置スルハ驚慌ヲ其ノ未タ
甚タシカラサルニ停止スルコトヲ得ヘシト雖モ此ノ管理法ニ出
テサルニ於テハ驚慌ヲレテ益々甚烈ニ至ラシムルノ外ナカル
ベシ其ノ關係斯ノ如ク大ナルカ故ニ一般人民ハ銀行後備金ノ
持主タル英國銀行カ此ノ義務ヲ了認セル如何又此ノ管理法ニ
基ヒテ其ノ事務ヲ管理セント欲スルヤ如何ニ付テ預メ領知ス
ルノ権理ヲ有ス然ルニ此ノ事タルヤ今日ニ於テモ尚ホ未タ定
着セザルナリ
我輩ニシテ若シ英國銀行ノ履歷ヲ考察シ以テ該銀行取締役カ
實際^{Actual}上其ノ事務ヲ管理スルノ様子ヲ窺フニ於テハ我輩ハ該取
締役ノ明ラカニ同種類同性質同地位ノ人々カ為サザルヲ得ザ

リシ式々ノ事ヲ為シ事ヲ察見スヘシ何トナレハ英國銀行取締
役ハ老實賢明ニシテ加フルニ豊富繁盛ナル商人ノ輩ナレハ此
輩カ該銀行ノ事務管理ノ際於テ其ノ適宜ナリト見認ムル
ハ則チ之レヲ行ナヒ適宜ナラスト見認ムルハ則チ之レヲ行
ナハサリシナレバナリ故ニ此取締役局ニ期スルニ理財上ノ高
尚ナル學問ニ於ケル大才能ノ希望ヲ以テスルヲ勿レ何トナレ
ハ幸甚ナル勉強學問ナルハ英國商人ノ慣習ニ因リテ殆トナサ
ズル所ナレハナリ又我輩ハ銀行事務ニ付テノ特別ナル意見ヲ
該取締役局ニ希望スル勿レ何トナレハ銀行ナルモノハ特格ナ
ル商賣ニシテ英國商人輩ハ概シテ之レカ事務ニ經驗練磨ノ知
識ヲ備有セサレハナリ又該銀行局ハ殆ト將來ニ在リテモ若ル
ニキ改進ヲナスヲ能ハサルベシ何トナレハ該取締役局ノ管理
法ハ一人ニ由リテ定メテルモノニアラス數人ノ協議ニ由

リテ定メテルモノニシテ且ツ此數人ハ決シテ辛爾ノ改進ヲ
欲望セザルベケレハナリ且ツヤ老實敏才ノ商人ハ常ニ其ノ安
全ナル主義ト考定スル所ノ方法ニ據リテ(即チ時宜ニ從ヒ商估
社會ニ於テ是ナリト信用セラレタル確實ノ主義ニ據リテ)其ノ
事務ヲ管理スルモノトス而シテ英國銀行ノ取締役カ從來其ノ事
務ヲ管理セシ有様ノ如キモ亦殆ト之レト同一様ナリキ英國銀
行取締役ノ有カナルト微クナルトハ西十カラ奇異ニモ此輩カ
最大ノ勢力ヲ有セシノ日ニ於テ顯然タリキ曾テ一千七百九十
七年ニ於テ正金拂ヲ停止セシ後ハ英國銀行ノ取締役ハ其意ニ
任セテ何程ノ巨額ニテモ紙幣ヲ發行スルヲ得タリキ何トナ
レバ紙幣發行ノ額ニ制限ナキノミナラス之レヲ發行スルモ正
金交換ノ為メニ該銀行ニ回リ来ルヲ能ハサリシナレハナリ而
シテ該銀行取締役ハ其ノ臆衷ニ之レカ過奢ノ念ヲ煽惑セラレサ

リシニハアラサリト雖氏克ク自カラ之レノ顧思シ之レヲ制
抑シ以テ其ノ不交換紙幣ヲシテ法外ニ發行セシメサリキ則チ
正金拂停止ノ後十餘年ノ間々毫クモ英國銀行紙幣ノ價格ニ下
落ヲ生セスシテ正金ト同比較ニテ(割引ナシ)流通セシトヲ以
テ其実ヲ證スルニ足ルヘシ然ルニ正金拂停止ノ後十餘年ヲ
經テ當時ノ該銀行取締役ハ竟ニ迷~~誤~~ニ陥リシト雖氏然レ氏之
レヲ緊要スレハ尚ホ此輩ハ稀有ノ公平ト適宜トヲ以テ其ノ管
理ヲナシタリト謂ツヘシ然リト雖氏一千八百十年ニ於テ其ノ
過察ノ理由ニ甘テ質問ヲ受クルニ當リ該銀行取締役ハ之レニ
答フルニ實ニ其ノ惑蠢愚妄ナル記ニテ史上ノ一奇觀トナリシ
程ノ言辭ヲ以テセリ當時ノ英國銀行頭取タリシピールス氏曰
ク

該英國銀行紙幣ノ發行セラル、所ノ有様ニ就テ之レヲ熟考

スルニ抑モ該銀行ノ紙幣ハ世ノ必用ニ供センカ為メニ適宜
ニ割引ヲ以テ發行ケラル、モノナレハ自カラ其發行ノ額ハ
決シテ過多ニ至ルヲ能ハサル様ニ支配セラル、ナリ因テ余
ハ該銀行紙幣發行ノ數額ノ多少ノ為メニ地金ノ價直又ハ交
換相庭上ニ毫モ影響ヲ及ホスモノナリトハ思了スルヲ能ハ
ス是故ニ余カ上文ニ開陳スル如ク其ノ發行額ノ支配セラル
、有様ヲ曉知理會スルハ地金ノ價直ニセヨ又ハ交換相庭
ニセヨ決シテ該銀行紙幣ノ發行額ヲ減縮スルトテ為メニ影
響セラル、ノ理アルヲ能ハサルヤ判然トシテ明亮ナラシ是
レ余ガ一己ノ管見ナリ

問

英國銀行頭取モ亦今マ副頭取ニ由リテ開陳セラレタル所ノ
説ト同説ナル乎

ウヰットモール氏答

余モ亦殆ト之レト同説ナリ又余ハ我が銀行カ貸付ヲ行フノ
日ニ於テ我カ銀行紙幣ノ金價或ハ交換相庭ニ影響ヲ及ボサ
シトテ顧慮スルハ次ニテ必用ナリトハ思惟セザルナリ
又尙

足下ハ英國銀行ノ通常ノ貸付額ヲ規則立テシカニ為ノニハ是
等ノニ事件ニ付顧慮スルヤ如何

答余ハ已ニ紙幣發行額ノ此ノ問題ニ關係ナキト想像セシヲ
以テ素ヨリ我カ銀行ノ通常貸付ケノ為ノニハ之レニ顧慮セ
ザルナリ

又英國銀行取締役中ノ一人ナル「ハルマン」氏此ノ件ニ付キ其
ノ意見ヲ開陳シテ曰ク

余ガ交換相庭ノ我カ銀行紙幣ノ増減ニ由リテ影響セラレハ

キモノナリト想像レ得ル前ニハ全ク余ノ意見ヲ變改セサルヘカラス
諸君余ハ今マ此ノ問答ノ顛末ヲ窺フニ當テ惟ラク世上恐ラクハ斯ル
ニ數十ノ文字ヲ連續シテ斯ル數多ノ誤謬ヲ吐露シ得ルモノハ實ニ稀少
ナルヘシト

然リト雖氏當時ノ英國銀行取締役ニシテハ斯ル誤謬ヲ吐露セシトテ
毫モ不面目トスルコトアラサルナリ何トナレハ此輩ハ當時英國ノ最良ナル商
賣上ノ意見ニ基キテ之レヲ吐露シタレハナリ況ンヤ倫敦ノ府民ハ勿論下
議院ニ於テモ此輩カ開陳セシ所ノ意見ヲ是認セシノミナラス此ノ説
ヲ非議セシ人ヲ以テ異説家ト稱シ無經驗者ト道ヘリ該銀行取締役
輩ハ此ノ凡庸ノ説ヲ納レテ之レヲ採用シ以テ其年末ノ實際ヲ追ヒ未
レリ是レ此ノ輩カ該銀行ヲ管理シテ克ク其ノ紙幣ノ發行額ヲ節制セ
シハ此ノ慣例アリシニ因リテナリ故ニ此輩ハ五分ノ利足ニテ確實
ナル為換手形ノ割引ヲ以テノニ其ノ紙幣ヲ發行スルコト得ル

同ハ其ノ發行スル紙幣ノ價格ノ決シテ降落スルヲナキモノト
信用セリ而シテ確實ナル為換手形(即チ實着ナル商人輩ノ確實ナ
リト認ムル所ノ手形)ノ數額ハ卒急ニ増加スルヲナキカ故ニ銀
市ノ和尺割合ノ屢々五分ヨリ以下ナルヲアルニ當リ之レヲ目
的トシテ紙幣ノ過發ヲ節制シ以テ甚ク實效ヲ奏シタリ尤モ此
輩ハ當時ニ於テ其見識ヲ誤マリ加之ノミヲラス此輩カ因テ以
テ及説ニ辨駁セシ所ノ論旨ハ實ニ愚妄ニシテ取ルニ足ラサリ
シト雖トモ當時ニ在リテ其ノ論旨ハ頗ル權勢アリテ且ツ秀絶
ナリキ

不幸ニシテ現ニ我輩カ今論及ノ途ニ在ル所ノ管理法(即チ銀
行準備ノ管理法)ニ就テハ英國銀行ノ衆取締役ハ當ニ公正
ナル主義ヲ了知セサリシノミナラス亦適宜ナル慣行ニヨ
リテモ保護セラレサリキ又此輩ニ向ヒ自ラ斯ル公正ナル主

ロシヤノ銀行

義ヲ發見センヲ期望スヘカラス夫レ實際ニ離レタル思慮ハ
決シテ之レヲ上位ノ人ニ期望スヘカラス何トナレハ極大ナル
普通商業ノ管理ハ最モ繁劇ノ事務ナレハ之レニ預カル人ハ假
令ニ其事ノ自己ノ主任事務ニ関シタルモノト雖モ通常理論ノ
點ニ就テハ又其ノ思慮ヲ下サザルモノナレハナリ

正金拂ノ停止(即チ二十二年間連續シタル停止)ノ間ハ正金準備
ニ付テノ傳説全ク地ヲ掃フテ消滅ニ屆シタリ故ニ一千八百十
九年ノ後ニ於テハ該銀行ノ衆取締役ハ必須ナル經驗ノ引導ナ
ク又確固タル主義ノ引導ナク又智巧ナル傳説ノ引導モナクシ
テ其ノ銀行準備及ニ(當時ニ於テ法律ノ制定アリシ所ノ)紙幣交
換準備ヲ併セ保守スルノ職務ヲ尽サザルヲ得ザリキ

斯ノ如キノ事情ナリシカ故ニ該銀行衆取締役ハ其ノ事務管理
ノ際重大ニシテ且ツ容易ナラザル失錯ヲナシタルモ亦已ムヲ

得廿九 = 出テタルナリ諸テ初回ノ取付ケ(則チ驚慌ヲ云フ)ハ一
千八百二十五年ニ於テアリキ此ノ時ニ當リ該銀行衆取締役ハ
其ノ貯蔵ノ地金ノ額ヲレテ最モ驚愕スヘキ程ノ少數ニマテ下
ラレノタリ

一千八百二十四年十
二月二十四日ニ於テ

一〇、七二一、〇〇〇封度

英國銀行ニ現在セシ

金銀貨幣及ヒ地金ノ

額

一千八百二十五年十

二月二十五日ニ於テ

一、二六〇、〇〇〇封度

漸ク減少セラ

現ニ存

セシ額

而ノ此ノ驚慌ノ猛烈ナルヤ實ニ殆ト五十年ノ後マテモ世人ノ
克ク記憶シテ忘レザリシ程ニ醜毒ヲ流シタリ又之レニ次テ一
千八百三十七年ヨリ一千八百三十九年ニ亘ル非常ナル取付ケ
ノ際ニ於テハ該銀行ハ止ムヲ得ス佛國銀行ヨリ貳百萬封度ヲ
借入レタリ然レモ此ノ助力ノミヲ以テ足ラシムルヲ得スレ
テ尚ホ衆取締役ハ其ノ地金ノ額ヲレテ貳百四十萬四千封度ニ
マテ減少セシメタリ是ニ於テヤ社會一般人トシテ錯愕タラサ
ルハナク為メニ劇烈ナル論議ヲ世上ニ生出シ竟ニ一千八百四
十四年ノ條例ノ發行ヲ促カシタリ又次テ一千八百四十七年ノ
驚慌ヲ起セリ此ノ時ニ於テハ英國銀行ハ其ノ(當時分明ニ法律
ヲ以テ區別セシ所ノ)銀行準備ヲレテ百拾七萬六拾封度ニマテ
下ラシメタリ而カモ此ノ回ノ驚慌ノ甚烈ナリシヤ行政官ハ特
トニ准許狀ヲ發シ以テ若シ已ムヲ得サルノ場合アルニ當ラハ

新法律ヲ破リ又時宜ニヨリテハ(空虚ナリシ)銀行準備ノ不足ヲ補充センニ十分ナリシ所ノ紙幣交換準備ヨリ借り入ル、トヲ得セシメタリ降テ一千八百五十七年マデ凡ソ十年ノ間ハ該銀市ノ景況ハ實ニ平穩無事ナリシカ共年ノ秋季ニ至リテ又々驚慌ヲ起シ来リ該銀行眾取締役ハ十月ニ於テ尚ホ甚ク少額ナリシ所ノ銀行準備ヲシテ左ニ示スカ如ク益々減縮セシメタリ

一千八百七十五年

十月十日	、	、	、	、	四〇、〇〇〇	封度
十月十七日	、	、	、	、	三二、一七〇	封度
十月二十四日	、	、	、	、	三四、八五〇	封度
十月三十一日	、	、	、	、	二二、五八〇	封度
十一月六日	、	、	、	、	二一、五五〇	封度
十一月十三日	、	、	、	、	九、五七〇	封度

然リ而シテ今回ノ驚慌ニ於テハ一千八百四十七年ノ驚慌ノ際ニ於テカカ如ク當ニ准許狀ヲ發セシノミナラス現ニ之レヲ實施セリ當時ノ行政官ハ則チ銀行準備ノ不足ヲ補充センカ為メニ紙幣交換準備中ヨリ借り入ル、トヲ準備セシカ故ニ英國銀行ハ十一月ノ末マテ若干額ヲ借り入レタリ實ニ古今ノ歴史ヲ開ヒテ之レヲ閱スルニ未タ曾テ一千八百二十五年ヨリ一千八百五十七年マテノ間數回ノ困難ノ時際ニ於テ英國銀行カ適當ナル銀行準備ヲ保守セザリシ事ヨリモ一層悲痛スベキ箇條アルヲ着ガレナリ

然リト雖モ一千八百五十七年以降ハ甚クシキ改進ニ至リタリ此時ニ當リテヤ英國ノ商人輩ハ千辛万苦ノ事情ト不斷不絶ノ議論トニ因リテ漸ク巨大ナル銀行準備ノ必用ニシテ欠クベカ

大藏省

ラサルヲ知得レ且ツ英國ノ銀行世界銀市ノ奇異ナル組成ニ
ヨリ英國銀行コソ獨リ銀行準備ヲ保守シテ莫效ヲ奏シ得ヘキ
ヲ了解スルニ至レリ儲テ英國銀行ニ於テハ曾テ嘗ニ此ノ義
務ヲ了認セサリシノミナラス共衆取締役中ニハ裁革カ前段ニ
於テ已ニ詳述セシ如ク或ハ此ノ義務ノ負擔ヲ嫌拒セシモノア
リキ然ルモ高ホ此輩ハ一千八百五十七年以降ニ在リテハ頗ル
廣ク此ノ義務ノ擔任ヲ創メタリ蓋シ英國銀行ノ衆取締役ハ漸
ク經驗ヲ積テ其ノ必須ナルヲ免リ老練ノ商人輩モ亦自他商
人輩ノ如ク此ノ必要ナルヲ曉リタルニ因リテナリ是ニ於テ
ヤ一千八百五十七年以降ハ英國銀行ハ常ニ(余ハ十分ナル銀行
準備ト云フニハアラサレ也)適宜ニシテ且ツ信ヲ容ルベキ銀行
準備ヲ保守セリ但シ此ノ銀行準備タルヤ該銀行カ一千八百五
十七年以前ニ保守セシ所ノモノト全ク異ナレリトス之レト時

ヲ同フレテ該銀行ノ衆取締役ハ又其事務管理上ニ付テ一步ヲ
進メリ此輩ハ一般ノ^{知識}進歩ニ從ヒ格段ナル進歩ヲナセリ即チ此
輩ハ利足ノ割合ヲシテ騰貴^上セシムルノ格段ナル方法ヲ実行シ
タリ而シテ此ノ利足ヲ騰上セシムルノ事ノ如キハ之レヲ自他ノ
方法ニ比スレハ遠ク數層ノ功カヲ有スルナリゴスチエン氏其
ノ著述セシ書中ニ於テ交換ノ件ニ付キ論シテ曰ク
倫敦及ヒ巴里ノ利足割合ノ間ニ於テ西府ノ間ニ互ニ金ヲ輸
送スルノ費用今ヤ最低ノ點ニマテ減省シタレハ將來ニ在リ
テモ決シテ甚クシキ差違ハナカルヘシ然リト雖モ此ニ須臾
モ放念ス可カラサルヲアリ何ツヤ曰ク利足ノ割合ナルモノ
ハ年ニ付テ計算セラルレバ仮定ノ利益ナルモノハ假令ハハ
三ヶ月拂ノ為換手形ナラハ之レヲ四ニ割テガルト得サレハ
輸送費用ニ至リテハ每一度ノ取引上ニ負擔セサルヲ得ス故

ニ甚ク微々タル費用ナルモ其妨礙ヲナスニ至リテハ甚ク大
ナルコト是レナリ若シ輸送ノ費用ヲ總カニ五厘ト見積ルモ未
ク何ナル利益モ起ラサルニ先クテ既ニ利足ノ割合ニ於テ
ハ二分ノ利益即チ三ヶ月ニ於テハ五厘ツ、ノ利益ナカラサ
ルベカラス是レニ由リテ之レヲ觀ルニ假令ハ巴里府ノ債主
カ五厘ノ費用ヲ以テ其ノ金ヲ英國ニ輸送スルコトヲ得且ツ英
國ニテノ交換相庭ハ大ニ該債主ヲ益シ此ノ金ヲ再々巴里府
ニ持歸ルノ費用ヲモ悉ク既ニ儲ケ得タルモノト想像セヨ然
レモ佛國ニ比較シテハ英國ニ於テ利足割合ノ高キカ為メニ
金ヲ輸送スルノ費用ヲ債主前ニ既ニ二分以上ノ超過アラサ
ルヲ得ザルナリ

是ニ因リテ之レヲ觀ルニゴスチエシ氏ハ蓋シ英國銀行カ其ノ
利足割合ヲ騰上シ以テ外國ノ交換相庭ニ影響セシメント欲マ

ルノ時ニ當リテハ之レヲ例トシテ漸々ニ其ノ利足割合ヲ壹分
百分ノ一マテ騰上セシメザルベカラザルコトヲ忠告セシヤ推テ
知ルベキナリ然リ而シテ英國銀行ハ一千八百六十年ヨリ以降ハ
此ノ主義ニ基イテ管理シタレモ一千八百六十年以前ニ在リテ
ハ殆ト常ニ漸々五厘ニ至ルマテ其利足割合ヲ騰上セシムルヲ
以テ通例トナセリ然ルニ商人社會ノ衆論ハ毫モ英國銀行ヲ促
シ以テ其ノ管理法ヲ變革セシメントニ尽力セザリシノミナラ
ス却テ此變革ニ付テハ頗ル人心ヲ得サリシナリ斯ノ如キ事情
アルカ故ニ英國銀行カ其ノ管理法ノ卓越ナル改革ヲ成シタル
コトハ同時代ノ世論ニ出テタルニアラスシテ時運ノ進歩ニ出テ
タルハ全ク右ノ事情ノ為メ(余カ考察シ得ル丈ケニテハ獨リ右
ノ事情ノ為メ)ナリキ

此ノ進歩シタル英國銀行ノ管理法ヨリシテ大ニ利益アル結果

ヲ奏セシモノハ頗ル明白ニシテ且ツ迅速ナリキ我輩ハ因テ以
テ一千八百六十二年乃至一千八百六十五年ノ間ノ數年ニ於テ
印度産ノ棉花ニ向ヒ歐洲ヨリ印度ニ積フヘキ代價ノ為メニ巨
大ナル銀塊ノ流出ヲ抵止シ之レヲシテ流出セシメサルヲ得
タリ一千八百六十四年ノ秋季ノ如キハ實ニ危殆ノ際アリキ然
リト雖モ英國銀行ハ瞬間ノ猶豫モナク手~~改~~ニ其ノ新更ノ管理
法ヲ活用セシガ故ニ其效ニヨリテ十分ナル準備ヲ支持スルヲ
ヲ得又タ英國ヲシテ困厄ヨリ免カレシムルヲ得タリ若シ我
輩ニシテ前日^{一千八百六十}年以前^{六十}ノ管理法ニ拘泥シ恬トシテ顧ミル
所ナカラシメハ我輩ハ豈一千八百五十七年ノ困厄ノ英國ニ再
燃スルヲ見ヲ免カル・^トヲ得ンヤ況ンヤ一千八百六十四年ノ
困厄ノ原因ノ如キハ悉ク皆一千八百五十七年ノ原因ト同一ナ
リシノミナラス一千八百六十四年及ヒ翌一年ニ於ケル銀塊流

出ノ如キハ之レヲ一千八百五十七年及ヒ其ノ前數年ニ比スレ
ハ其ノ數額遠ク上ニ出テタリ然ルニ一千八百五十七年ニ於テ
ハ為メニ驚慌ヲ發生シ一千八百六十年ニ於テハ却テ驚慌ヲ發
生セサリシモノハ抑モ是レ英國銀行力此ノ主義ノ猛烈ナル難
極ノ際ニ當リ能ク公衆ノ信用ヲ保持シテ失ナハサルヘキヲ
察見シ以テ~~然~~然機會ヲ過マタスシテ正適ナル主義ヲ實施セシ
ノ報應ニアラサルヲ得ンヤ
一千八百六十六年ニ於テ驚慌ノ發生セシトハ實ニ明確ニシテ
疑フマデモナシト雖モ余ハ之レカ為メニ英國銀行ヲ難シ以テ
之ヲ非トスルヲ欲セス何トナレハ該銀行ハ當時ノ豫算ニ據レ
バ頗ル適宜ナル準備^{即チ一千八百四十七年及ヒ一千八百五十}
七年ノ難極ノ如キハ必然之レヲ抑壓スルニ十分ナル準備ヲ有
持シタリ然ルニ此年ニ驚慌ノ起リシハ英國ニ於テ最モ世上ノ

信任ヲ受ケタル私立會社ナル「オハレンドブル」社中ノ正金
拂止ヨリ起リ曾テ前例モナク不意ニ出テ且ツ其ノ暴發烈大
ナリシニ由テナリ儲テ一千八百六十六年ノ驚慌ノ際ニ於テ一
千八百四十四年制定ノ條例ノ成跡如何ヲ問フニ當リテハ是レ
一朝一夕ニ辨シ得ルノ問題ニアラサルナリ然リト雖モ一千八
百四十四年制定ノ條例ニ基ヒテ處置スルトセハ該英國銀行取
締後ハ臨時ニ發生スル痛困スヘキ偶然起生事ニ應センカ否メ
ニ同年ニ於テ其ノ銀行局ニ相當ナル巨大ノ準備(即チ世人カ該
銀行ノ保守シタランヲ希望スルカ如キ巨大ノ準備)ヲ貯有セ
シト一般異口同音ニ満足ノ聲ヲ發スヘシト思惟スルナリ
一千八百六十六年ヨリ一千八百七十年マテハ該銀市ノ景況ハ
殆ト平穩無事ナリキ此時ニ當リテヤ英國銀行ハ銀市ニ立テ之
レヲ支配スルニ毫モ困難ニ値遇スルコトナク又一層卓識ナル裁

量ヲ要スヘキ機會タモアラザリキ何トナレハ平穩無事ノ日ニ
在リテハ銀市ノ支配ハ其ノ自然ニ任シ亦他ヨリ之レニ関涉ス
ルヲ要セザレハナリ然リト雖モ一千八百七十年ニ於テ佛國銀
行ノ正金拂ヒヲ停止セシヤ此時ヨリシテ更ニ秋カ英國銀市ノ
有様ヲ一新セリ然リ而シテ該銀市ニ於ケル地金ノ請求ハ之レヲ
前日ニ比スレハ倍ニ多キヲ加ヘタルノミナラス一層間断ナキ
ニ至レリ是レ蓋シ今ヤ英國ノ銀市ハ歐洲中只一ノ地金市場ト
ナリタルニ因リテナリ是ニ於テヤ英國銀行ハ其ノ曾テ必要ト
ナシタルヨリハ一層巨大ナル銀行準備ヲ保有セザルヲ得サル
ニ至レリ又若シ其ノ銀行準備ノ不意ニ危殆トヒ程ニ減縮スル
コトアルニ當リテハ前日ヨリモ一層細心ヲ以テ預防ノ術ヲ施サ
ザルヲ得サルニ至レリ何トナレハ其勢力ハ該銀行ノ衆取締及
カ是迄實際ニ於テ經驗シ来リシヨリハ一層烈大ニシテ且ツ

疾快ナルハケレハ從テ前日ヨリハ一層堅牢ナル防禦ト確固ナル注意トヲ必要トスレハナリ然ルニ余ハ英國銀行カ其ノ然ル所以ノ理ヲ詳知セリトハ思惟セス該銀行管理ノ職ニ列スル諸役負ハ實ニ全ク之レヲ知ラサルナリ何トナレハ余ガ前段ニモ掲ケシ所ノ有名ナル英國銀行取締役ハ「キンキ」氏再ヒ「タイムズ」新聞紙上ニ於テ慣手ノ快筆ヲ揮テ此ノ一新ノ時際ニ於ケルモ尚ホ該銀行ノ銀行局ノ為メニハ其ノ負債額ノ三分ノ一ヲ以テ充分ナル準備トナスヲ又輸出ノ為メニ供給スヘキ地金ヲ保守スルカ如キハ英國銀行ノ職務限内ニアラサル旨ヲ述べ立テタリ蓋シ輸出ノ為メニ供給スヘキ地金ヲ保守スルハ英國銀行ノ職務限内ニアラスト云フノ說ヲ維持セント欲スルカ如キハ最モ毒害甚シキ妄見ト謂ハザルヲ得ヌ況ンヤ英國銀行ノ銀行局ハ今日ニ在リテ獨リ歐洲中ニ立テ金塊ノ取引ヲ司トル所ノ一

大貯蔵トナリタルノミナラス亦之レカ為メニ前日ニ比スレハ遠ク一層巨大ナル地金ノ貯蔵ヲ保守セザルヲ得ザルノ地位ヲ占ムルニ於テオヤ加之ノミナラス前述セシ紙繆ノ外ニ尚ホ此ニ英國銀行ノ管理上ニ於テ今日ニ至ルマテ既シ得ザル一欠所アリ蓋シ此ノ欠所ノ由テ未ル所ノ本源ヲ尋ヌルニ該銀行管理法ノ組成結構ノ重大ナル紙繆ニ在ルナリ
備テ英國銀行頭取カ其ノ職務ヲ蔽フテ始メテ其位ニ昇リ該銀行ノ事務ヲ管理スルニ當リテハ殆ト常ニ遠巡躊躇ヲ告トセリ夫レ英國銀行頭取ナルモノハ則チ是レ該銀行内閣ノ宰相ナリ然ラハ斯ル重切ナル要職ノ更迭アルニ當ラハ自然爾他モ亦從テ變更アルモノナリ故ニ若シ新任ノ頭取ニシテ無力ナルキハ其ノ在職期限中ハ事ヲ處スルニ必ズ遠巡躊躇ヲ以テスルモノ

ナレハ英國銀行が其ノ利足ノ割合ヲ十分迅速ニ騰上セシメ
ルカ如キハ則チ通例ノ欠所ト謂フベシ素ヨリ之レヲシテ到底
騰上セシメズト云フニハマラヌ只世人カ已ニ驚怖ノ心ヲ起セ
シ後ニ於テ施シ之レヲ未タ甚シカラサルニ先ツテ行ハサル
ト云フノミ是レ他ナシ謹慎ヲ旨トスル人ハ英斷果決ヲ以テ事
ヲ處スルヲ好マサルニ由ルナリ然ルニ該銀行ノ頭取タルモノ
ハ通帝謹慎ヲ旨トスルノ人ナリ此輩ハ最モ謹慎ヲ旨トスルノ
社會中ヨリ撰擧セラレナリ故ニ此輩ハ自カラ因循姑息ニ傾
嚮スルモノトス此ノ因循姑息ナルモノハ該銀行ヲ管理スルノ
良具タルヤ否ヤハ知ラスト雖モ實地ノ經驗上ニ由リテ觀ルキ
ハ銀行準備ノ減縮ヲ起スノ日ニ當リ一層之レヲシテ激烈ナラ
シムルノミニシテ則チ怯懦ナル管理法ノ結果ハ該銀行ノ金塊
ヲ其庫中ヨリ放遣シ而メ再ヒ之レヲ恢復セサルヲ得ザラジム

ノ煩アリ是ニ由テ之レヲ觀レハ因循ナル處置法ヲ施スカ為メ
更ニ準備ノ不足ヲ補充セザルヲ得ザルノ煩勞アラシヨリハ寧
ロ臨機ノ處置法ヲ施シ以テ之レヲ支持スルノ速ク簡便ナルニ
如カサルナリ然リト雖モ新任ノ頭取ノ中此ノ得失ノ理ニ付テ
通曉スルモノハ殆ント稀レナリ
又此等ノ糺纏ハ(悉皆ニアテサルモ一二ハ)必ス無力ナル頭取ノ
在職期限内其ノ事務管理ノ際ニ現ハルルヲ免カレサルナリ素
ヨリ決着ノ見込ヲ以テ該銀行ヲ管理シ或ハ機ニ臨ミ變ヲ制マ
ルノ處置ヲ施スカ如キハ頭取任職ノ初メニ在リテ未タ其ノ權
勢ノ歸セサル間ハ或ハ憚ル所モアルベキカトシモ大概満期ニ
至ルマデ因循ニ甘シ姑息ニ安スルヲ常トス是レ此ノ糺纏ハ全
ク自然ニ出テ其事務管理ノ際ニ相伴フモノハ如ク然リ
又前段ニ於テ屢々論述セシ如ク今日ニ在リテハ該銀行準備ノ

管理方法ニ付テ認定セラレタル一ノ適當ナル規則クニ無キガ
故ニ此ノ糾纏タル益々大ナルニ至レリ前ノ英國銀行頭取ウエ
キョーリン氏他ノ質問ニ答テ曰ク英國銀行ニシテハ其ノ銀行局
負債高ノ四分一乃至三分一ノ準備ヲ保守セハ十分ナリシト
然リト雖モ今日ニ於テハ若シ該銀行ノ準備カ其ノ銀行局負債
高ノ殆ント四分一ニマテ減セシナラハ決シテ誰レ一人モ之
レヲ満足トスルモノアラサルベシ又余カ已ニ詳述セシ如クハ
ンキ」氏ハ該銀行ノ目的トスル準備ノ比例ヲ負債高ノ凡ソ三
分ノ一ト考定シタレモ此ノ三分ノ一ヲ以テ該銀行局ノ準備ハ
決シテ之レヨリ下ラサルベキ所ノ最低點トモ云ハズ又此ノ三
分ノ一ハ時ニ由リテ浮沈シ或ハ之レヨリ上ルヲアリ或ハ之レ
ヨリ下ルヲアル所ノ適宜ナル平均ナリトモ論セサリシナリ
後章ニ於テ余ハ時サニ英國銀行銀行局ノ負債高ニ向ヒ三分ノ

一ハ今日ニ在リテハ決シテ適宜ナル準備ニアラズ又適當ナル
平均ニアラサルハ勿論適當ナル最低點ニテサハモアラサル
等ヲ詳カニ明示セントス然リ而モ余ハ又該銀行ニシテ若シ其
ノ目的ノ方向ヲ轉シ其ノ準備ノ比例ヲ高フセサルモハ將來ニ
於テ特リ該銀行ノ地位ノ危殆ナルノミナラス英國ノ人民ハ為
メニ必然土炭ノ困苦ヲ免カレサルニ至ルベキ所以ノ理ニ就テ
並セ論スベキナリ

訖拔兒德街論第七編

第二章

既ニ前章ニ於テ解説セシ如ク英國銀行ハ適分ノ準備金ヲ保守
シ以テ豫メ驚慌ニ備ヘサルベカラサルノミナラズ實際驚慌ニ
遇フトハ頻ク充分ノ心カヲ竭クシテ此ノ準備金ノ實用ヲ謀ラ
サルベカラサルノ義務アルハ則チ之レ我カ銀行仕組ノ然ラシ
ムル所ニシテ凡ソ銀行準備金ノ保守者タルモノハ其任ハ只一
個ノ銀行ニ限ルカ或ハ數個並ヒ存スルカニ係ハラス苟クモ驚
慌ノ凶時ニ會シテ能ク自己ノ安寧ヲ全フセント欲セハ宜ク先
ツ其ノ準備金ヲ活用シテ自他其ノ業ノ信憑上ニ成立スルモノ
、安全ヲ保底セサルベカラズ然ルニ是ヲ之レ顧ミス只管自己
ノ安寧ヲ謀ルニ汲々シテ空ク他者ヲシテ其業ヲ傾ケ信憑ヲ
失ナハシメハ自己ノ信憑モ又孤立スヘカラス共ニ敗滅ニ歸ス

ルマ必セリ

然ルニ爰ニ論者アリテ曰ク英國銀行ハ純然タル銀行準備金ノ
保守者ナリト雖氏未タ必スレモ其言ノ如クナラスト而シテ其
ノ論旨ヲ聞ケハ曰ク英國銀行ハ驚慌ノ起ルニ際シテハ他ノ諸
銀行者及ヒ諸商人ヲシテ其ノ業ヲ傾ムケレムルモ又ハ他者性
賦ノ中ニ存シテ獨リ其ノ害ヲ蒙ムラサラント欲スルモ只意思
ノ嚮フ所ニアルヘシト此ノ思想ノ傳播スルヤ當ニ該銀行ニ関
係ナキノ識者ノミナラス現ニ該銀行ノ管理ニ干涉スルノ有識
者ニシテ往々此ノ説ヲ為ス者アルニ至レリ蓋シ此説ノ果シテ
其ノ実ヲ失ナハサルヤ如何ニ就テハ讀者自カラ一續ノ下ニ之
レヲ判定セサルベカラス何トナレハ則チ驚慌ノ際ニ於テ英國
銀行ノ一舉一動ハ財政上ニ於テ果シテ如何ナル影響ヲ未タス
ベキ乎未タ該銀行カ驚慌ニ會シテ實地何様ノ地位ニ立到ルベ

キ乎ヲ識ラサル前ニ頃カニ其舉動ノ影響ヲ測知セント欲スル
ハ實ニ理ニ疎キノ甚シキモノト云ハサルヲ得サレハナリ
此ノ説ヲ為ス者ノ甚シキニ至リテハ曰ク英國銀行ハ驚慌發生
ノ日ニ際シ何時ニテモ其本業ヲ停止スルヲ得ベレ後令ハ一
旦ハ大ニ貸出シヲ行ナヒシモ時宜ニ由レハ断然其後ノ貸出し
ヲ拒絶スルヲ得ヘシ又斯ル貸出しニ由リテ若干ノ準備金ヲ
減少スルヲ得タリシモ時宜ニ由リテハ爾後ノ減少ヲ防禦スル
ヲ得バシ又爾來ノ割引換ヲ拒絶スルヲ得ヘシ又既ニ前日
ニ割引セシ所ノ手形ハ逐次ニ仕拂期限ニ至ルヘケレハ是等手
形面金高ノ拂ヒ込ヲ以テ準備金額ノ減少ヲ補フヲ得ヘシ又
株式券及ヒ其他ノ抵當証書ヲ賣却セハ又更ニ若干ノ準備不足
ヲ補充スルニ足ルベシト
論者ノ喋々スル所ハ大概チ斯ノ如シ之レヲ如何ソ真面目ノ討

辨ヲ要スヘケヘンヤ其説ノ失當ナルハ讀者ノ自カラ解スル所
ナルヘシ夫レ銀行準備金ニシテ一旦減少ヲ来クスノ後ニ頓カ
ニ之レヲ回復スルノ策ハ又何レニアルベキヤ余ハ未タ之レヲ
知ラサルナリ驚慌ノ時際ニ於テ既ニ一度散配セシ財資ヲ復タ
再集セント欲スルハ實ニ難中ノ難事ト云フベシ何トナレハ一
度財資ヲ握掌セシモノハ又他ニ財資ヲ得ルノ確策アルニアラ
サルヨリハ徒ラニ之ヲ手離スカ如キハ必ス萬人ノ壓フ所ナル
ヘキカ故ナリ然リ而シテ英國銀行力驚慌ノ時際ニ於テ財資ヲ収
集スルノ難キハ少しモ他者ニ異ナルトナキノミナラス却テ他
者ニ踰ユル所アルヘシトス今茲ニ其ノ難事タル所以ヲ示サン
彼論者ノ説ノ如ク若シ英國銀行ニシテ断然割引換ヲ謝絶スル
ニ至ラハ前日ニ於テ割引換セシ手形ノ持者ハ當時金融ノ通セ
サルヲ以テ其ノ手形ノ將サニ拂戻シ期限ニ迫ルモ其ノ拂戻シ

ヲ受クルコトヲ得サルヘシ既ニ前編ニ於テ詳説セシ如ク我カ英
國ノ商業資金ハ過半借財ヲ以テ成立スルモノナレハ今マ俄カ
ニ市上流通ノ資額ヲ減殺セント欲スルニ當リテハ先ツ同額ノ
新資財ヲ他所ニ索メテ之レニ代ハラシムルニアラサルヨリハ
為メニ影響ヲ被ムリ破産ニ至ルモノ亦尠ナカラサルベシ然レ
氏驚慌ノ時際ニ於テハ又決シテ他ニ新財ヲ得ルノ道ナレ遇々
財資ヲ有スルノ人アルモ固ク之レヲ保守シ決シテ放逐スルコ
ト好マス殊ニ貸金ノ商業人ニ係ルノ分ハ之レヲ取戻スト益々
難シ何トナレハ凡テ商估ハ巨額ノ負債ヲ擔フモノナレハ此負
債ノ償還ニ備フル財資ノ如キハ仮令ヒ是錢タモ容易ニ銀行ニ
拂ヒ戻サバハマケレハナリ然リ而シテ銀行者輩ニ至リテハ猶ホ
之レヨリ一層甚クシキ恐怖心ニ執着セラレ驚慌ノ起ルヤ直チ
ニ新字形ノ割引換ヲ拒絶スルニ至ルベシ之レ蓋シ銀行者ハ自

己ノ負債ニ加フルニ得意ノ負債ヲモ擔當スルカ故ニ為メニ其
ノ全カヲ占メラレ又ク他者緣故ナキ者ノ便利ヲ圖ルニ暇マア
ラザルニ由ルナリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ驚慌ノ時際ニ於テ
英國銀行ハ断然割引換サヘ謝絶スレハ從テ新財ヲ收獲シ得ヘ
レトノ説ハ非理ノ最モ甚タレキモノナリト云ハサルヲ得ス勿
論割引換ヲ停止スルハ英國銀行ノ権内ニアリテ實ニ容易ノ事
ナリト雖モ若シ然カスル中ハ証券函中拂ハレズシテ過タルハ
証券ヲ以テ積堆スルニ至ルベシ故ニ此策ハ決シテ新財資ヲ收
獲スルノ方便明策ニハアラサルナリ
且ツ又驚慌ノ最中ニ於テ株式券賣却云々ノ説ノ如キモ亦之
レ到底実行スベカラサルモノナリト云フヘシ試ニ思ヘ斯ノ如
ク疑懼心流行ノ時際ニアリテ株式券ヲ見込ニ貸出シヲ為スモ
ノハ獨リ英國銀行ノミニ止マルベシ且ツ當時ニ於テ世上ニ之

レカ取引盛ニ行ハルモノハ全ク該銀行ノ貸出シ金ノ在ルア
ルヲ以テナリ然レハ該銀行ヲ如何程株式券ヲ賣却スルニ務ム
ト雖モ已レ先ク駕キニ貸出シヲ為シ置クニアラサレハ世人ハ
之ヲ買取ルノ資財ヲ有セザルベシ且ツヤ英國內ニハ株式券
ヲ買ハント欲シテ豫メ之レカ為メニ巨額ノ財資ヲ蓄積スルモ
ノナレ只之レヲ有スルモノハ獨リ英國銀行ノ銀行局ナルノミ
故ニ若シ驚慌ニ遇フテ該銀行局カ自カラ株式券ヲ賣却セント
スルハ自カラ好シテ過害ニ陥ルニ異ナラス蓋シ害アルモ益
ナカルヘシ仮令ヒ又聊カ尽力ノ功アルベシト假想スルモ恐ラ
クハ其賣高五十封度ノ外ニハ出ツベカラス是ニ由テ之レヲ觀
レハ該銀行ノ準備金一旦空耗ニ至リシ後チ或ル方法ヲ以テ之
レヲ處セハ其ノ準備金ノ舊額ヲ回復スルニ難カラストノ思想
ハ或ハ未ク全ク世上ニ存セラレサルヤハ知ラサレ氏又ク真面

大藏省

目ヲ以テ主張スヘキノ説ニアラサルナリ

又曰ク英國銀行ハ驚慌ノ端緒ニ於テ早ク既ニ歩ヲ止メ一錢金
クリトモ限外ノ貸金ヲ為サス而ノ驚慌ニ備フルニ確實ナル準
備金ヲ以テし聊カモ臨時ノ貸金ノ為メニ之ヲ減殺スルナ
カラシメハ以テ該銀行ノ獨立ヲ維持シ全ク驚慌ノ害ヲ避クル
ヲ得ベシト之レ英國銀行ノ獨立策ノ第二説ニシテ第一税ニ比
スレハ稍々理ニ近ク且ツ其ノ妥當ナルニ似タリ然リト雖モ其
稍々理ニ近ク且ツ妥當ノ説ナルニ拘ハラズ未ク以テ真ニ實行
ニ適スベキ良法ト為スベカラス彼ノ一千八百六十六年ノ驚慌
ノ如キハ此説ノ當否ヲ知ルニ最モ適シタレハ今ハ爰ニ畧述シ
テ其如何ヲ示スベキナリ

諸君世人ノ記スル如ク一千八百六十六年ノ驚慌ハ實ニ「オハラ
ン」社ノ傾倒ニ根由スルモノニシテ全ク世人ノ意外ニ發生シ

タリ未ク該會社ノ傾倒セサルニ先立テ英國銀行ノ準備金ハ實ニ五百八拾
壹万貳千封度ナリシモ傾倒後僅々二三日ノ間ニ貸出セシ新資財ハ現ニ壹
千三百万封度餘ノ巨額ニ及ヘルヲ以テ彼ノ五百八拾万封度餘ノ準備金ノ
如キハ速ク已ニ貸出し盡シ遂ニ政府ノ救助ヲ仰クノ欠クベカラサルニ至レ
リ之レ多クハ巨額ノ貸出シヲ為シタルニ由ルト雖モ若シ此時該銀行カ巨額ノ
貸出シヲ為サスニハ其準備金ヲ保存シ得タリトスル歟

決シテ之レヲ保存スルヲ得ヤリシヤ寔トニ明ラカナリ則チ英國銀行ハ其受託金
ヲ保留スルヲ能ハサリシナルベシ何トナレハ其受託金ノ過半ハ諸銀行者ノ預ケ
金ナレハ銀行者等ハ殊更ニ自己ノ店ヲ閉シテ英國銀行ノ獨立ヲ助ケ以テ該
銀行ヲシテ自己傾倒ノ中ニ殘存シ獨リ銀行業ヲ專ラニセシムルヲ欲セサル明
ラカナレハ必スヤ直チニ各自ノ預ケ金ヲ引渡スヘシ決シテ各自
ノ傾倒ヲ甘シ英國銀行ノ特リ獨立セントスルノ策ヲ積成セサ
ルベキナリ然レモ今マ依リニ諸銀行者ノ思想ハ爰ニ出テス依

令ヒ英國銀行カ其貸出シヲ拒絶シ一己ノ獨立ヲ企ツルモ猶ホ
舊ニ依リテ預金ヲ据置カント欲スルモノトスルニモセヨ素ト
銀行者等カ英國銀行ニ於テ預金ヲ存シ得ルハ只彼ノ取引清算
所ノ助ケニ依ルモノナレハ一朝恐慌ノ熾シタルニ當リテ此ノ
清算所ノ廢壞スルニ遇ヘハ英國銀行中又自カラ銀行者ノ預托
金ヲ餘サザルニ至ラン況ンヤ此取引清算所ナルモノハ全ク世
人ノ信憑上ニ繫ガルモノナルカ故ニ驚慌ノ勢熾漸ク熾シナル
事ハ須臾モ其仕組ヲ維持スヘカラサルニ於テオヤ
今試ニ取引清算所日業通常ノ順序ヲ説クヘシ爰ニ乙商人カ
甲商人ニ對シ五万封度ノ貸金アリ然ルニ甲ハ此ノ借財ヲ拂フ
ニ正金ヲ以テセスシテ一銀行者ニ係ル振出手形ヲ乙商人ニ渡
セリ爰ニ於テ乙商人ハ又此手形ヲ自己ノ貸分ト為シテ其取引
銀行ニ交付シ此銀行ハ又復タ之レヲ彼ノ被振出銀行ニ示シテ

其ノ清算ヲ需ムヘシ而メ若シ此ノ手形確實ノモノナレハ即チ
之レ取引清算所日業ノ一個條トナルナリ然レ此ノ清算所全
体ノ仕組ハ甚ク脆弱ナルカ故ニ驚慌ノ始メニ於テ已ニ其業ヲ
維持スヘカラサルナリ先少其ノ第一着ニ於テ乙商人ハ負債主
ナル甲商人ニ對シテ云ヒ出スヘシ余ハ汝ノ振出手形ヲ受取ル
ヲ肯ゼサルベシ余ハ銀行手形ヲ以テ受取ランコトヲ望ムト而メ
此ノ負債タル素ト抵當ニ依ルモノナル事ハ甲ノ此言ヲ吐クヤ
誠ニ至當ナリ尤モ平時信憑ノ行ハルニ時ナレハ先ツ債主負債
主ノ振出手形ヲ受取り即チ前ノ抵當ヲ返附スルヲ常トスレモ
該抵當ガ若シ後日紛紜ノ生スル時ニ於テ債主ニ充分ノ用ヲ為
スモノナリトセハ未タ確否ノ知レサル一片ノ手形ヲ受取リテ
此ノ抵當ヲ返附センコトヲ欲セサルベシ爰ニ於テ乙又甲ニ云ハ
シ若シ余ニ附スルニ銀行手形ヲ以テスルニアテサレハ余ハ決

レテ抵當ヲ返附セサルベシト債主若シ此言ヲ為サハ負債主ハ
則チ自己取引ノ銀行ニ走セ附ケ預金ノ内五万封度ヲ取り出し
来ラサルヲ得ス夫レ世上ノ取引皆ナ斯ノ如キニ至レハ銀行ノ
手元準備金ハ速ニ空乏ヲ告ケ從テ取引清算所ノ業次第ニ衰微
ニ趨クヘキカ故ニ英荷英國銀行ニ於ル預金ニ及ホサハルヲ得
スサレバ銀行者カ何程英國銀行ニ於テ其預金ヲ据置カント欲
スルモ得スレテ竟ニ止ムコトヲ得ス一錢ダモ餘マサ引キ抜カ
サルヲ得サルニ至ルヘキナリ

以上陳述セシ如ク驚慌ニ遇フテハ取引清算所ノ使用次第ニ減
シ使用減スルニ從ヒ益々驚慌ヲシテ熾ニナラシムヘシ夫レ平
常^常信憑ノ世ニ行ナハル、時際ニアリシハ英國ノ商賣過半ハ抵
當ヲ取引セラレ而ク一月間兩度ツ、相場會所ニ於テ決算セ
ラル、カ故ニ單ニ振出手形ニ易ヘテ返附セラル、抵當ノ數及

ト取引清算所ニ於テ確實ナルト見認ムル所ノ手形ノ數ハ實ニ
莫ヘ難キ程ノ大數ナリト雖氏一朝取引清算所使用ノ衰フルヤ
世間ニ産ヲ破ルモノ、數ハ日一日ヨリ多ク而シテ破産ノ報聞ア
ル毎ニ世上ノ危疑心ハ彌々増加シ信憑地ヲ拂フニ至リテ遂ニ
清算所ヲシテ全ク廢滅ニ歸セシムヘキナリ

英國銀行ノ常得意ノ如キモ亦其ノ信憑ヲ一事ニ至リテハ毫モ
他者ニ異ナル所ナケレハ其ノ振出手形ハ又他者ノ振出手形ト
共ニ世人ノ為メニ嫌拒セラレヘシ故ニ此輩ハ債債ノ便ノ為メ
ニ直チニ銀行手形ヲ引出サ、ルヲ得ス斯ル有様ニ至ルハ英
國銀行ノ準備金ハ其ノ要求高ノ僅カニ十分一ニ充ツルニダモ
足ラサルベキナリ

又仲買人及ヒ手形扱人等ハ大概巨額ノ負債義務ヲ負擔スルモ
ノニシテ平時ハ只諸種証書ノ賣買ニ由リテ漸ク融通ヲ得ルヲ

帝トス 儲テ今若シ前章ニ示セシ如ク 甲カ大蔵省券大蔵省券ヲ利
ヲ云キ 証書ヲ抵當トナシ乙ヨリ五万封度ノ借財アラシニ此ノ公
債証書ヲ賣却スル歟或ハ之レヲ他ニ典當スルニアラサレハ此
借財ヲ拂フニ能ハサルベシ然ルニ賣却セシニモ又ハ他ニ典當
トナサシニモ之レヲ手許ニ所持セサレバ能ハサル勿論ナルニ
債主ナル乙若シ其ノ金高ヲ受取ルニアラシハ抵當タル公債
証書ヲ返付スル能ハスト云ハバ甲ハ其ノ借財ヲ拂フノ術ナキ
ヲ以テ遂ニ傾倒ニ至ルノ外道ナシ而シテ又丙ニ對シ均シキ借
財アレハ速カニ甲カ傾倒ノ報ヲ踏マサルヲ得ヌ丙ノ丁ニ於ケ
ル丁ノ戊ニ於ケルモ事亦然リ而シテ其ノ影響ハ延テ全社會ニ及
フベシ斯ノ如クナルカ故ニ警警ク決莫當日ニ於テ若シ清算所ナ
シトセハ世上ノ商店一トシテ傾倒セサレナク抵當証書ハ當廿
ニ丘ヲ作スベキナリ此時ニ當リテヤ此ノ商估社會ノ敗壞ノ影

響ハ直チニ延テ一般銀行者ノ頭上ニ墮落シ就中英園銀行ヲ以
テ最モ甚タシトスヘシ
又或ハ云フモノアラシ斯ノ如クシテ英國銀行ノ銀行局ヨリ取
リ去ラレタル財資ノ如キハ復タ時ヲ移サシテ該銀行局ニ四
戻スベシ何トナレハ之レヲ借入レシ所ノ人ハ英國銀行ヲ置キ
又他ニ此ノ財資ヲ預托スベキノ場所アルヲ知ラサルヘケレハ
且シタニ取去ラレモ暮ニ至レハ復タ原ニ回末スヘキナリト
其ノ言ノ如キハ實ニ最モノ論ノ様ニ聞ユレト素ト此ノ該タル
ヤ先ツ第一ニ該銀行局ハ世上ノ請求ニ應スルニ足ルヘキ十分
ノ資額ヲ有スルモノト見做スヨリ起リタルモノニシテ全ク誤
見ニ出テタリ蓋シ實際該銀行局カ有スル所ノ資額ハ現ニ必要
高ノ百分一ニタモ充タサルナリ又第二ニハ取引清算所ヲ攪亂
シ過キタル驚慌ハ一瞬ヲ俟タスシテ全國一般ニ蔓延スヘキカ

故ニ英國銀行ヨリ取去リタル資財ハ決シテ一旦暮ニシテ復タ
返ルヘカラス恐ラタハ數日ノ後ト雖モ驚慌ノ珍滅スルニアラ
スハ之レヲ回復スルハ莫ニ容易ナラズ苟クモ國內ニ
シテ銀行者ノ營業スル所ナルカ又ハ商業ノ行ナハル所ナル
カ又ハ貸借ノアル所ナルカ又ハ疑懼心ノ流行スル所ナルハ
則チ之レ此ノ資財ノ飛行スル所ナルハシ
斯ノ如キ大驚慌ノ起ルニ會セハ倫敦府中ト雖モ英國銀行銀行
局ノ信憑ハ速クニ勢弱ヲ致スヘシ何トナレハ元來該銀行局ノ
創業ハ漸ク一千八百四十四年ノ迄キニアリテ未タ世ニ名聲ヲ
博スルニ至ラサルヲミナラス爾來既ニ三四ノ分散ニ罹リタル
ニ由リテナリ故ニ世人動モスレハ先例ノ再ヒ爰ニ回想起セン
ヲ慮リ退々預クヘキノ財アルモ前回ノ分散ヲ起想シテ又容易
ニ其財ヲ斯ル危候ノ場所ニ委託スルヲ肯セサルヘシ然レモ最

後ノ驚慌ノ際ニ於テハ今爰ニ陳ヘタルカ如キ疑念ヲ要セザリ
レカ故ニ敢テ預金ヲ委託スルニ躊躇スルモノナカリキ然ル所
以ノモノハ全ク英國銀行カ當時務ノテ公衆ヲ扶助セシト且ツ
已ムヲ得サル場合ニ至ラハ政府ハ該銀行ヲ保護スルナラント
人民カ固信セシニ由リテナリ是ニ由テ之レヲ觀ルニ時未トテ
モ驚慌ニ會ハド英國銀行ニシテハ前回ニ於テ世ノ疑懼心ヲ勢
弱ナラシメタルノ策ニ依ルニアラズハ此疑懼心ハ忽チニ長
驅シ終ニ銀行局ノ域内ニ侵入スルニ及ブナルベシ
然レモ余ハ敢テ驚慌ノ紙幣發行ヲ侵入ス可シト云フニハア
ラス却テ公衆ハ該局ヨリ發行ノ銀行紙幣ヲ得ハ充分ノ満足ヲ
表ハスベシト信スルナリ何トナレバ一般他ノ銀行ノ手形ナレ
ハ之レヲ所持スルモ為ニ毫タモ便益ヲ得ルヲナレト雖モ英
國銀行ヨリ發行ノ銀行紙幣ニ至リテハ全ク然ラス此ノ紙幣ハ

合法貨幣ナレハ苟モ之レヲ所有スル人ハ何種ノ負債ト雖モ凡
ソ外國ニ関スルモノニアラサレハ之レヲ以テ百般ノ仕拂ヒヲ
為スニ差支ヘナシ故ニ此ノ紙幣ノ需要ハ暴カニ増殖シテ遠ク
東西ニ飛散スルニ至ルベシ然ルニ此ノ紙幣ノ負數ハ固ヨリ全
國ニ普給スルニ充分ナラサルニ由リ銀行局ハ數日ナラスレテ
既ニ其ノ所持ノ紙幣ニ於テ刺マス所ナキニ至ルヘキナリ
是ニ由リテ之レヲ觀レハ英國銀行ト雖モ恐慌ニ遇フテ銀行局
ノ信憑ヲ失フノ一事ニ於テハ又特別ノ特權ヲ有セサルヤ寔ニ
明カナリ且ヤ該銀行ハ獨リ英國銀行準備ノ保守者タルノ位地
ニ居ルヲ以テ驚慌ノ際ニハ宜シク其ノ準備ヲ放ツテ自由ニ貸
出シテ行ナヒ公眾ニ便益ヲ與ヘ却テ他ノ同種銀行カ務ムヘキ
ノ義務ハ擧テ之レヲ一己ニ擔フテ尽サビルベカラサルナリ且
ツ又英國銀行ハ勿論其他ノ諸銀行ニ於ケルモ若シ驚慌ノ際ニ

至リ貸出シテ行フハ成ルベク其目的ニ達スルヲ旨トセサル
ベカラス而シテ其ノ目的タルヤ驚慌ヲ鎮定スルノ一事ニ存スレ
ハ則チ宜ク貸出シテ行フニ方リ之レカ鎮定ニ便ナルノ方法ヲ
以テセサルベカラズ爰ニ之レニ関シタルニ條ノ規則アリ
第一 此種ノ貸出し金ニハ宜ク尋常外ノ高利ヲ附スベシ斯ノ
如クヌルハ此高利ハ則チ恰モ無益ノ臆病心ニ課スル
重料金トナリテ世ノ貸出し金ヲ頼ムヲ要セサルノ人ニ
シテ猶ホ且ツ之レカ扶助ヲ仰クカ如キ臆病心ヲ制壓ス
ルノ用ヲ為スベシ然リ而シテ一時モ早ク此料金を拂ハシ
メンカ為シ驚慌ノ萌シ顯ハルヤ直チニ其ノ利足ヲ引
上クヘシ然ルハ此ノ重料金を拂ハスニテ無用ノ貸出
シ金を求メント欲スルモ得ヘカラサレハ以テ發許カ銀
行準備金ノ減縮ヲ保護スヘシ

大藏省

斯ノ利割ヲ以テ凡ノ銀行ノ取引上確實ナル抵當ナレハ
 甲乙ヲ撰マス自由ニ貸金ヲ行ナレ且ツ貸金ノ高ニ至テ
 ハ成ルバク丈ケ公衆ノ要求ヲ充タスヲ務ムヘシ而ノ
 貸出シヲ行フノ目的ハ原ト疑懼心ヲ珍減スルニアレハ
 凡ツ疑懼心ヲ養生スルニ近キノ處置ハ何事ニ限ラス否
 スヘカラス疑懼心ヲ喚起スルニ最モ有力ナルハ確實ナ
 ル抵當ヲ拒絶スルヨリ甚タシキハナシ若シ一度確實ナ
 ル抵當ヲ拒絶スル事アラハ其ノ新聞ハ直チニ銀市
 一般ニ傳播シ未タ傳フル者ノ誰タルヲ知ルヘカヲサル
 ニ既ニ此ノ新聞ノ至ラサル所ナク而ノ至ル所トモテ疑
 懼心ヲ勢援セサルハアラサルナリ然リト雖モ貸金ノ結
 局銀行ノ損害トナルベキモノハ素ヨリ之レヲ為スベカ
 ラズ之レヲ為サザルモ亦取テ害ナカレベシ何トナレハ

商賣繁昌ノ國ニ於テハ不確實ナル取引ハ之レヲ全体ノ
 取引ニ比較スレハ實ニ瑣々タル一小部分ニ過キサレハ
 ナリ故ニ後備金ヲ保守スルノ一銀行若シクハ數個ノ銀
 行カ仮令ヒ驚慌ノ中ニ於テ不確實ナル抵當ヲ謝絶スル
 ルモ不確實ナル抵當ヲ持出スカ如キ不正人民ハ當ニ全
 國人民ノ弱勇數ニ居ルノミナラス此輩ハ恐々トシテ其
 不正業ノ發覺セントテ是レ恐レ居常心中ニ安セサルノ
 徒ナレハ決シテ秋毫タモ驚慌ヲ勢援ヒ得ルノ理アル無
 シ又之レニ及シテ充分ノ保護ヲ與ヘサルベカラサルノ
 多數人民ハ皆之レ正當ナル良民ニシテ則チ確實ナル抵
 當ヲ有スルノ人々ナリ故ニ單ニ英國銀行ハ其ノ平時確
 實ナリトセシ抵當ヲ持参スルモノニハ異議ナク貸出シ
 ヲ為スヘシトノ風聞アルニ方リテハ正實ナル高估及ヒ

銀行者等ハ速カニ安心シテ全ク疑懼心ヲ放抛スルニ至
ルベシ然レモ若シ現ニ確實ニシテ平時ニハ故障ナク取
引セラル、抵當ノ一度該銀行ニ於テ拒絶スル所トナラ
ハ當ニ世人ノ疑懼心ヲ制止スル能ハサルノミナラス驚
慌ノ勢縮ヲレテ益々熾シラシムルニ至ル可キナリ
今右ノ如ク論レ来レハ論者又必ス云ハシ夫レ銀行局ノ限リア
ル準備金ヲ以テ世ノ限リナキ貸出要求ニ充テントスルハ只口
ニ云フバクシテ實地ニ行ハルヘカラス既ニ然ラハ銀行局ハ貸
出シテ行フ方為メ其ノ傾倒ヲ招クノ理ナリト仮令ヒ其疑念ノ
一理アルニモ拘ハラズ貸出シハ銀行局ノ最良策ニシテ其ノ準
備金ヲ最モ久シキニ保存シ成ル可クシハ驚慌ノ中ヲ無難ニ脱
出スルヲ得ルノ策ナリ且ツ既ニ論セシ如ク銀行局ノ艱難ナル
最初ヨリ全ク貸出ヲ謝絶スルモ決シテ其ノ傾倒ヲ免カルヘカ

ラス又一且巨額ノ貸出ヲ始メ而シテ中途ニ之レヲ停止スルハ
其ノ傾倒ヲ免カルヘカヲサレ素ヨリナリ然ラハ則チ此ノ難時
ニ當リテ唯一ノ頼ムヘキノ策ハ何様世間ニ於テ通常確實ト認
ムルノ抵當ナラハ聊カモ貸出ニ狐疑セサルノ誠意ニ在ルナリ
然レモ此策トシテ必ス該銀行ノ傾倒ヲ救ヒ得ヘキト云フニア
ラスト雖モ若シ此ノ策ニシテ不幸ニ之レヲ救ヒ得スルハ又何
者ヲ能ク其ノ傾倒ヲ支フルヲ得ヤケンヤ
然リ而シテ英國銀行カ當テ準備保守者タルノ義務ヲ尽セシ實際
ノ有様ヲ細究センニ其ノ方法決シテ真正ノ主義ニ出テタルニ
アラズ其ノ方畧ノ如キモ亦密ニ而立スヘカヲサレモノアリ尤
モ其方畧ニ至リテハ漸々大ニ改良ヲ經タルモノアリト雖モ猶
ホ緊要ノ事項ニシテ未タ全美ヲ闕クノ悔ナキヲ能ハサルノ甚
ク多キヲ知ルヘキナリ

此ニ第一ニ開示ノ欠クベカラサルモノハ彼ノ一千八百二十五年ニ起リタル驚慌ナリ而メ之レヨリ先キ既ニ一千七百九十三年及ヒ一千七百九十七年ノ兩驚慌ヲ実践シタルハ當時其ノ要置ニ於テハ少シク得ル所モアルヘキ筈ナルカ如シト雖モ余ハ決シテ然ルヲ信シ能ハサルナリ何トナレハ爾後十數年ノ間ヲ經タレハ世ノ有様モ亦一大變遷ヲナシ當時ノ世界ハ昔日ノ世界ニアラズ現ニ一千七百九十七年ヨリ一千八百十九年ニ至ルマテ無期紙幣ノ行ハレタル時代ノ論題ハ全ク當時ノ論題ト異ナルニ由リテナリ故ニ一千八百二十五年ノ驚慌ノ際ニ於テモ英國銀行ハ毫モ前例ニ學フ所ナキヲ以テ之レニ處スルノ道ニ関シ實ニ無上ノ失策ニ陥イリ諸般ノ方法ヲ尽シテ偏ニ貸出金ヲ謝絶スルヲ以テ其ノ務メトシタリキ之レ全ク準備金ノ高甚ク僅少ナルカ故ニ其ノ或ハ速カニ空乏ニ至ランヲ恐レ成ル

ベキ丈々ハ貸出金ヲ減シテ此ノ僅少ノ準備金ヲ保護セントスルノ意思ニ出シタルニ過キサルハシト雖モ其ノ結果タルヤ實ニ云フニ忍ヒサルノ乱脈ヲ引出シ當ヤニ一個ノ錯亂世界ヲ現出シタレハ各人ハ相互ニ疑念ヲ^救バサミ又何誰ヲ信シテ可ナラシヤヲ多知スヘカラサルニ至リ世ノ信憑ハ地ヲ拂フテ消滅ニ歸シハスキスツン氏ノ言ノ如ク全國內ノ取引ハ全ク現物ノ交易トナリ人又一日ノ信憑ヲガニ借サバノ有様ニ至リタリ此ノ時ニ當リテ頻リニ政府ノ扶助ヲ促ス者アリシト雖モ政府ノ之レヲ許諾セサリシハ既ニ照然クリシ然レモ余ハ當時ノ実情ニ付キ信ヲ置クニ足ルベキノ説ナキヲ頗ル遺憾トセシニ近頃ウエルリントン侯ノ萬國通信ヲ閱スルニ其中ニ當時ノ全況ヲ載セタリ當時侯ノ使命ヲ奉シテ「聖彼得堡ニ滞在ナリシガロベルトピール氏ノ本國來信中ニ曰ク

我輩ハ大蔵省券發行ノ事ニ就テ實ニ安カシサル論起ノ起
ルニ遺遇セリ何トナレハ當時存下人民ノ思想ハ我カ同派
論者ト反對論者トヲ問ハス共ニ連結シテ断然此ノ証書ノ
發行ニ由リテ吾工ヲ援助セントスルノ議ヲ賛成シタレバ
ナリ
賛成論者ノ口實ニ曰ク此ノ方策ハ需キニ一千七百九十三年
年及ヒ一千八百十一年ニ於テ既ニ実践ヲ經テ現ニ充分ノ
実効ヲ奏シ得タルモノナリト而シテ又我カ同派論者ノ議次
ヲ聞クニ曰ク我輩カ現ニ實行スル所ノ方策ハ嘗テ「ピット氏
ノ實施セシ所」モト全ク異ナレリ當時若シ氏ノ存命ス
ル「アアラハ猶ホ氏ハ必ス再々前例ヲ實行スルナルベシト」
諸テ賛成論者ノ理論ハ外面ヨリ之ヲ見レハ余モ又其ノ
論ノ一理アルニ感スルナキ能ハスト雖モ一步ヲ退ヒテ熟

考スレハ此ノ方策ハ實ニ危殆ノ策タルヲ免カレサレハ政
府ハ断然之レヲ拒絶セサルベカラサルヲ知ルナリ
當時世上ノ流通ニアル大蔵省券ノ額ハ既ニ三千万ニ及ベ
リ而シテ近時英國銀行ノ大ニ之レカ買入レヲナシクルニ拘
ハラス尚ホ其ノ本價ヲ支持セシムルヲ得サリキ然ルニ
此ノ上猶ホ論者ノ要求ニ從テ五百万ノ証券ヲ發行スル
アラハ此ノ証書ハ若ルシク其ノ價格ヲ減シ而シテ其ノ本價
又減シ而シテ其ノ本價ヲ以テ政府ノ歳入ニ拂込マルハ一
大危難ヲ醸成スルニ至ラニ然ラハ則チ新証券ニ附スルニ
仮令ハ五分利割ノ如キ舊証券ニ踰ユルノ利割ヲ以テセン
カ又共ニ舊証券ノ利割ヲ引上ケルニアラサルヨリハ舊証
券ノ價格ハ直チニ大ナル下落ヲ起シ益々本價ニ離隔ヲ生
スルニ至ルヘシ然ラハ則チ舊証券ノ利割ヲ引上ケンカ然

スルハ又政府ノ歳入上ニ増利仕拂ノ影響ヲ及ボスベキ
ナリ且ツ又英國銀行ハ物品ヲ預リテ財資ヲ貸付タルノカ
ヲ有スルモノナルカ故ニ該銀行ニシテ若シ正金ヲ以テ之
レヲ交換スルコトヲ為サザルハ大蔵省券ノ発行アルモ全
ク無用ノ冗物ニ属スベシ是ニ由テ之レヲ觀レハ如何ナル
場合ニ在リテモ英國銀行ノ干渉ハ次ニテ實際欠クベカラ
ス且ツ該証券ノ流通貨幣ヲ増加スルカ如キノ成跡ニ至リ
テハ該銀行ノ干渉最モ欠クヘカラサルナリ故ニ我輩ハ該
銀行ニ諭告シ以テ該銀行カ大蔵省券ヲ引當トナシテ銀行
紙幣ヲ發行スルコト止メ單ニ物品ヲ引當トシテ其ノ紙幣ヲ
發行スルノ事務ヲ專斷セシコトヲ望ミタリ然ル所以ノモノ
ハ他ナシ大蔵省券ハ又別ニ特格ノ信憑ニ據テ發行セラル
タルモノナルカ故ナリ

ロンドン 第七頁

世ノ大蔵省券發行ヲ賛成スルノ論者ハ未タ其ノ希望ヲ充
分満足セシメサル所アルベシト雖氏漸クミシテ此議ニ同
意スルニ至リシヲ以テ我輩ハ幸ニ彼ノ有害ナル論趣ヲ排
斥スルコトヲ得タリキ

此時ニ當リテ英國銀行カ其ノ目的ヲ遂ケタルハ他ナシ全ク真
正主義ニ基キテ事ヲ取りシノ一舉ニ源スルナリ而シテ該銀行カ
其ノ真正主義ヲ採用シタルハ時甚ク遅シト雖氏其ノ之レヲ採
用スルニ至リテヤ完全ヲ尽シテ採用セリト云フヘシ前既ニ論
載シタル英國銀行ノ職務報告ニ由リテ其ノ取締役ハ前日ニ實
例ナキ方法ヲ採用シ百般ノ手段ヲ尽シテ大ニ財資ノ貸出しヲ
為シタリ先ツ大蔵省券ヲ買入レ又ハ之レヲ抵當ニ取りテ貸出
レヲ為シ當ニ限外ノ割引換ヲナセシノミナラス為換手形ヲ預
リテ貸出しヲ為シタルモ亦極メテ巨額ナリキ之レヲ要スルニ英

國銀行ハ其ノ保守ト而立スヘキ都テノ手段ヲ尽シテ貸出シテ
務ノタリキ當時ニ於テハ此ノ貸出シ主義ノ正理ナルヲ了解
スルモノ今日ヨリモ一層寒々タリシニ獨リ英國銀行カ斷然銳
意シテ終ニ此ノ方策ヲ完全ニ採用シタルハ實ニ該銀行取締役
ノ大名譽トリト云フヘシ然リト雖氏初メ全ク之レニ相反シタ
ル方策ヲ採用シテ固ク新案ヲ排斥シタルト終ニ行政官ノ請求
ニ會シ始メテ此ノ方策ニ関シタル責任ヲ行政官ト分擔スルノ
約ヲ以テ漸クニシテ此ノ新案ヲ容ルニ至リシ等ノ點ヲ以テ
ハ該銀行取締役ハ又多少ノ譴責ヲ免カルコトヲ得ザルヘキナリ
一千八百二十五年以來一千八百四十七年ニ至ルマデハ銀市場
ニ於テ真ニ驚慌ト稱スベキモノ起ラザリキ尤モ一千八百三十
七年及ヒ一千八百三十九年ノ商業困難ハ實ニ酷烈ナリレト雖
氏末メ驚慌ト云フ程ニ至ラズレテ尙ヲ結びタリ但シ此時ニ於

テハ世ノ疑懼心ノ末メ強盛ノ極ニ達セサル先既ニ制止スルヲ
得ル故ニ英國銀行カ此際ニ於テ實施シタル方策ノ成果如何
ノ如キハ之レヲ爰ニ論スルニ適セサルナリ
一千八百四十四年以來ノ三驚慌(即チ一千八百四十七年、一千八
五十七年及ヒ一千八百六十六年ノ三驚慌)ニ於テ英國銀行カ之
レニ處セシ方畧ハ多少彼ノ一千八百四十四年ノ銀行條例ノ為
メニ影響ヲ被リタル所アレハ予ガ前ニ明示セシ域内ニ於テ其
ノ處置ノ當否ヲ論スルコト能ハサルナリ故ニ爰ニハ只ニ條ノ事
ヲ記スルニ止マルベシ
第一 英國銀行取締役ノ云フ所ニ由レハ曰ク驚慌ノ初期ニ於
テ為スヘキ貸出シハ彼ノ一千八百四十四年ノ銀行條例
ノ為メニハ毫モ障碍セラレシ所ナレト
第二 曰ク驚慌ノ晩頃ニ至リテハ理ノ當否ニ拘ハラズ既ニ此

ノ條例ハ停止セラレタリシ又其後同一ノ場合ニシテ未
ク此ノ條例停止ヲ行ハサルノ例ナキニ由リ世人ハ皆
ナ理ノ當否ニ拘ハラス斯ノ如キ場合ノ再ヒ生起マルト
アラハ必ス又條例ノ停止アルベキヲ固信セリト
斯ノ如クナルヲ以テ今マ如何ナル臆測ノ理論ヲ主唱スルト雖
氏實際ノ理論ノ正確ナルニ如カサルナリ然リ而シテ銀行取締
役ノ明言スル所ヲ概言スレハ英國銀行ハ一千八百四十四年ノ
條例發行後ニ於テ恐慌ヲ蒙マルニ方リ猶ホ未タ其ノ發行ナキ
ノ日ニ於テ廢セシト同一ニ之レヲ處セサルベカラス如何トナ
レハ驚慌ノ初期ニ於テハ條例ノ為ニ毫モ箱束ナルトナク
又其ノ晩時ニ至リテハ條例ノ停止ヲ得タレハ全ク其ノ束縛ヲ
脱シタレハナリト云フニ外ナラサルナリ
故ニ吾輩ハ今爰ニ一千八百四十四年ノ條例發行ノ後ニ生起シ

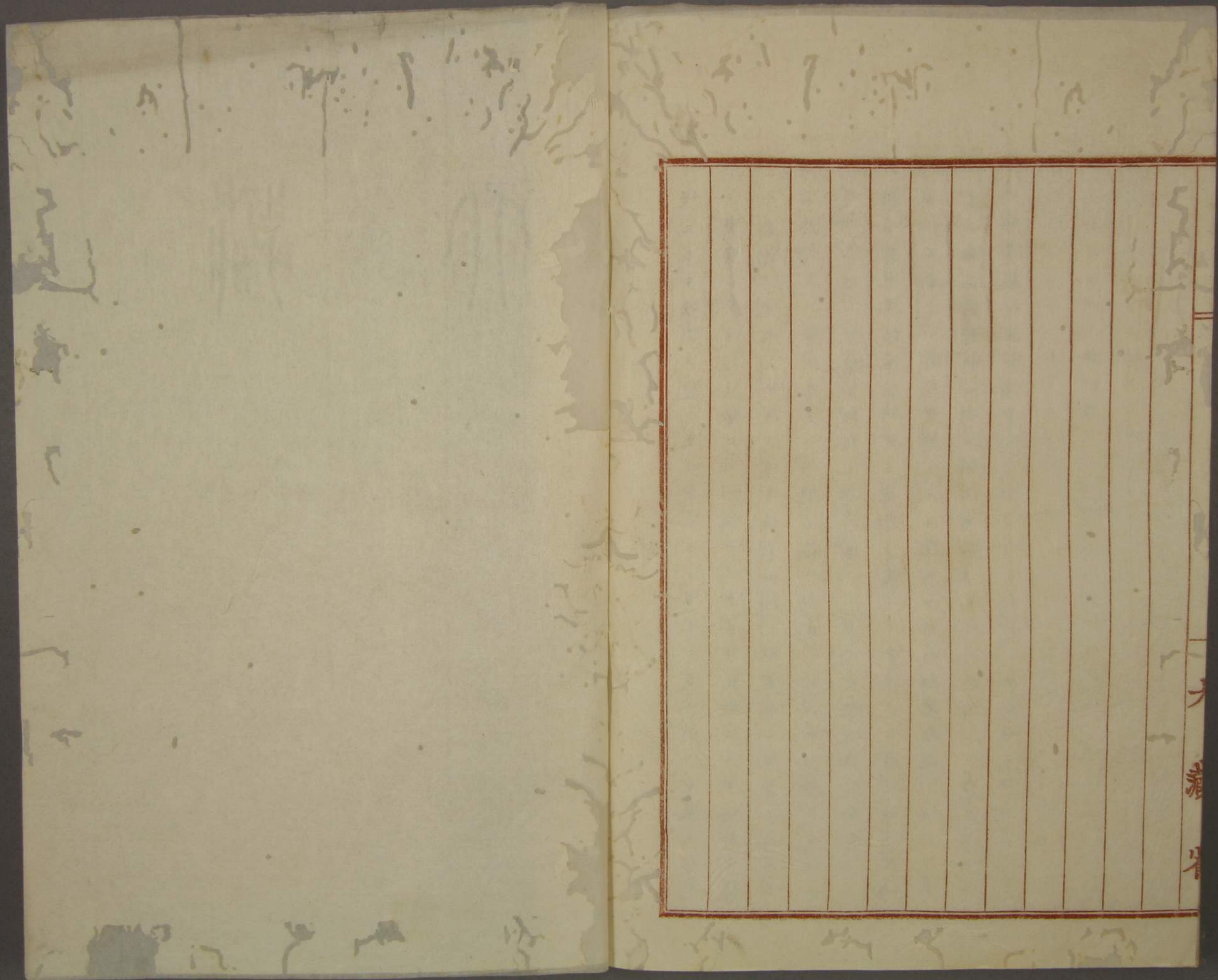
タルニ驚慌ニ就テ該條例ノ影響ヲ論スルヲナクシテ英國銀行
ノ之レニ處シタル方畧ノ如何ヲ考察シ得ヘキナリ則チ英國銀
行カ此ノニ驚慌ニ於テ實ニ巨額ノ貸出シヲ為シタルハ寔ニ明
カニシテ且ツ此ノニ驚慌ニ於テハ額キ二千八百二十五年ニ於
ケルヨリモ其施為ノ頗ル活潑ナリシノミナラス準備金保持ノ
一大目的タル貸出ヲ行フニ於テモ又前時ノ如ク躊躇セザリキ
既ニ斯ノ如ク其施為上ニ於テ進歩ヲナシタレバ又爰ニ若ルニ
キ一弊害ノ存スルアリ何リヤ曰ク英國銀行ハ驚慌ノ時際ニ方
リテハ如何ナル抵當ニテ貸出ヲ肯ンスベキ歟世人ヲシテ之レ
ニ疑惑ヲ懷カシムルノ一事則チ是レナリ
既ニ云ヘル如ク驚慌ノ際ニ於テ銀行準備ヲ活用シ之レカ貸出
シヲ行フハ素ト此ノ驚慌ヲ治スルノ目的ニ出テタレハ則チ之
レヲ治スルニ最モ便ナル方畧ニ由ラサルヘカラス又此ノ目的

ヲ達セント欲セハ平時ニ於テ確實ト見認め未^レタル抵當ナレ
ハ其ノ何種タルヲ問ハズ毫毛躊躇スル^レナク貸出シテ諾セサ
ルヘカヲサルナリ然ルニ爰ニ弊害ヲ生スル所以ハ疑懼心ノ深
キヨリシテ通常確實ト認めタルノ抵當モ終ニ之^レヲ確實ト認
メサルニ至ルニアリ去レハ真ノ計策^策ナルモノハ此ノ流弊ヲ制
シテ銀行準備金ヲ活用シ由テ以テ銀行平常ノ業ヲ復セシムル
ニアルナリ而シテ其ノ能ク斯ノ如キ成跡ヲ致サント欲セハ宜
ク確實ナル抵當ハ之^レヲ異議ナク引受けサルベカラサルナリ
然ルニ不幸ニシテ英國銀行ノ行為ハ爰ニ出テス勿論恐慌ノ起
ルヤ確實ナル証書ノ割引換ヲ為サシカ為メ特別ニ割引課ヲ設
置シテ巨額ノ貸出シテ為シ又一千八百六十六年ノ困難時ニ於
テハ一時少シク躊躇セシ^レナキニアラザリシカモ現ニ「コンソ
ル」^{証書}利付公債 及ヒ印度債券ヲ抵當ニ取りテ貸付ケテ為セリ

然レモ是等ノ証書ハ平時ニ於テ容易ニ財資ヲ得ベキモノニシ
テ且ツ償還ノ確實ナル証書類中ノ只ニ一小部分ニ居ルニ過キ
ス此ニ又鐵道債券ノ如キ^{商業}形ニ均シキ確實ナルモノアリ
此ノ債券ハ印度債券ヨリ一層確實ナルハ多ク人ノ信スル所ニ
シテ余ハ亦其中ノ一人ナリ要スル所ニ大鐵道會社ノ債券ハ印
度ノ如キ未^レ見サルノ帝國ヨリハ偶然不慮ノ事モ極メテ稀少
ナルベシト考フルノミナラス若シ英國銀行カ驚慌ノ際ニ於テ
鐵道會社ノ債券ニ貸出シテ許スハ世ニ之^レヲ贊スルノ論者
ナキニ苦マサル余ノ信シテ疑ハサル所ナリ而シテ他確實ナル
抵當証ハ其類又少ナレトセサルナリ
貸金ヲ為スニ當テハ其ノ抵當証ハ既ニ確實ナリト見認めタル
ノ後ナレハ此ニ英國銀行ニ就テ論スベキ要點ハ抵當証ノ性質
ニアラスシテ貸付ケ金ノ額ニアルナリ而シテ余ノ見ル所ニ據レ

ハ英國銀行ニ於テハ其ノ平常貸付ケテ許サレリ抵當証ハ驚
慌ニ於テモ亦之レヲ許スベカラズトノ思想專ラ流行セリ然リ
ト雖モ自他ノ銀行者カ平常確實ト認メテ貸金ヲ為シ来リタル
抵當証ニシテ且ツ此証書ハ疑ヒモナク確實ナルモノナリトセ
ハ英國銀行通常ノ行為ハ謬マレリト云フベレ何トナレハ平時
ニ於テハ英國銀行モ唯ニ衆貸付ケ人中ノ一人ナルニ過キスト
雖モ驚慌ノ時際ニ於テハ全ク獨リ貸付ケ人トナルハケレハ我
輩ハ該銀行ノ能ク精神ヲ委シテ驚慌ノ非常ナル有様ヲ控弁シ
平時ノ常體ヲ挽回レンコト該銀行ニ囑望スレハナリ
英國銀行カ驚慌ノ際ニ於テ施スヘキ方畧ノ預定シ難キハ常ニ
世人ノ憂トスル所ナリ何トナレハ該銀行ハ其ノ施スベキ方畧
ノ趣旨如何ニ関シ未タ曾テ判然之レヲ明示セザリシニ由リテ
ナリ前ニモ云フ如ク却テ取締役ノ中ハシキ「氏ノ如キ性々驚

怪スヘキ誤謬ノ説ヲ主唱スルモノアリキ是ニ於テハ最モ緊急
ノ時際ニ於テハ該銀行ハ如何ナル方畧ヲ實施スヘキ歟即チ幾
干金額ノ貸出シヲ行フヘキ歟又何種ノ抵當証ニ貸金ヲ許スヘ
キ歟是等ノ事ニ至テハ公衆ノ益々確定シ能ハサル所トナリタ
リ畢竟能ク驚慌ヲ控弁シ得ルモノハ世人カ銀行準備金適分ノ
額ト其ノ準備金運用トニ信憑ヲ置クニアルノニ故ニ世人カ此
ノ點ニ関シテ判然了解スルニ至ルマデハ商業困難ニ陥ルノ先
除ト斯ル困難時ニ於テ世上ニ流行スルノ恐怖トハ既ニ之レヲ
判然了解スルヲ得タルノ日ヨリモ太甚シタル可キナリ



天
卷

